臺灣日日新報

本日八頁

臺灣日日新報社
臺北市榮町

謹賀新年

電氣機具と文房具は
臺北市京町二ノ二〇
村田商店
電話一三六三番

臺北市京町二ノ二〇
池上カバン店
電話二八四一番

臺北市八甲町二丁目二十八番地
合名會社佐藤商店
代表社員 **佐藤光雄**
電話三五五八番

臺灣廣告美術協會

臺北市壽町四ノ八
臺灣ネオン合資會社
電話一九一四・二三一六番

臺北市下奎府町五丁目六拾八番地
安保忠毅法律事務所
電話一五六・一七一番

日清生命保險株式會社
臺灣支社長 **百束於菟雄**
臺北市本町四ノ一八 電話（一一三三番）

恭賀新禧
臺北市水道町
李延齡

第二ノ國民常磐ノ子供
無診査ニテ御加入ガ出來マス
常磐生命臺灣支部
事務所 臺北市本町二ノ十五 高雄市榮町二ノ六

池畑履物店
電話五四五番 市場五十六番

謹賀新年

西門市場案內

創業明治四十一年
かごや菓子店
電話構內三番

神戸精肉直移入
田伍作牛肉店
電話構內二七番

天ぷら一式
長崎屋
電話構內八一番

[illegible]
赤岡商會
電話構內五七番

元佐藤商店吳服店
佐藤伸吳服店
仲店構內五二番

和洋雜貨
三上洋雜貨店
電話三七〇四番 構內五三番

御料理 **林田虎太**
本店 臺北市兒玉町四丁目十六番地
支店 臺北市川端町九十番地
有馬屋（電話 本店二七六七番 支店三四七六番）

確實本位
眼鏡と金銀細工
金屬品とサンゴ
臺北市榮町 電話一八三番
末吉山金堂

三好理髮館 臺北市西門町二丁目

林美髮軒 臺北市京町三丁目二番地

林理髮館 臺北市本町二丁目四十五番地

美理軒 明石町二丁目ノ九

馬場理髮館 臺北市本町一丁目 電話三九五八番

德丸理髮館 臺北市西門町一ノ一 電話二九六三番

小川繁一 鐵道ホテル理髮部

江上理髮館 臺北市京町三 電話二、一〇三番

德丸三郎理髮館 臺北市大和町三丁目（南丁銀行內）

馬場理髮館 菊元デパート內

熊井理髮館 臺北市兒玉町三丁目

御雛人形
教育玩具卸商
臺北市本町
村山商行
電話一五三一番

萬漬物類
食料品問屋
臺北市榮町
酒卷本店
電話五一七番
店主 村山彌生

◆勉強する店◆
洋家具と椅子の御註文なら
最も勉強する弊店へ是非御用命を
臺北市大和町二 電話一一九八
久保椅子店

臺北市京町一丁目
柳藥局
電話一〇四〇番

謹賀新年

昭和八年元旦

池田好治
今道定治郎
新見喜三
渡邊喜三郎
高石威泰
田村作太郎
園部良治
浦田永太郎
藤江醇三郎
神戸駒一
古賀達朗
清水組 大野巖
合名會社大田組 江原節郎
住吉組 中井清枝

市內吳服店聯合

いろは順

明けまして御目出度う
本年も不相變御引立を御願ひ致します

新春最新の値安を以て値段と云ひ柄と云ひ決して內地に劣らぬ最新柄流行品の初荷を澤山に取揃へ新年の御禮の意味で格別の勉強と努力を以て明日より初荷の新品新柄を賣出しますから倍舊の御引立を願ひます

臺北市榮町 **近江屋吳服店**

臺北市兒玉町 **大木吳服店**

臺北市榮町 **高田吳服店**

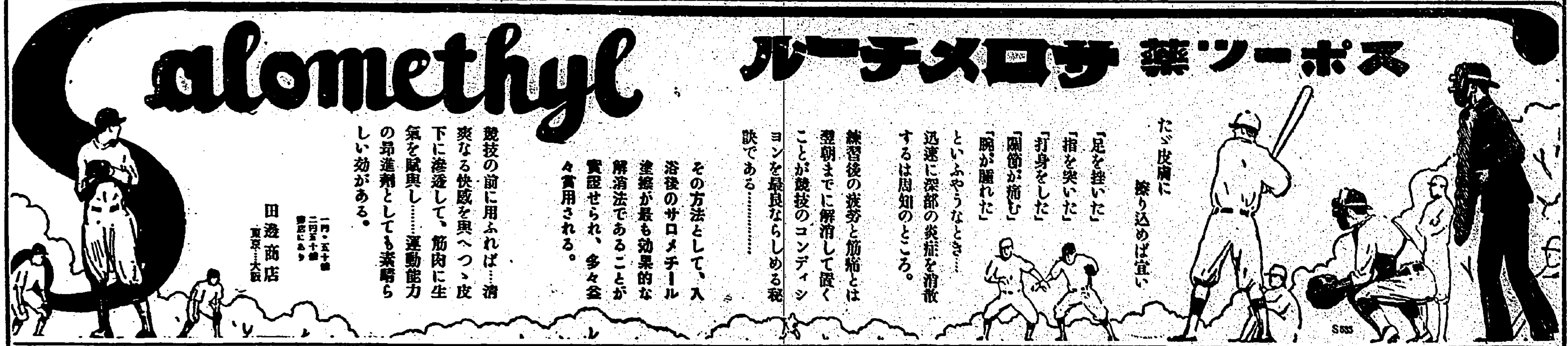
臺北市本町 **丸山吳服店**

臺北市本町 **福田吳服店**

臺北市榮町 **藤井吳服店**

臺北洋服商組合有志（イロハ順）

店名	所在地	電話
伊藤洋服店	臺北市北門町十六番地	電九二一番
磯部洋服店	同 西門町一丁目十七番地	電二八八〇番
今泉洋服店	同 太平町一丁目一番地	
富田洋服店	同 大和町二丁目八番地	電三一一四番
河瀬洋服店	同 本町三丁目一番地	電二六八二番
吉井洋服店	同 京町一丁目九番地	電一三八三番
山川洋服店	同 新起町三丁目四一番地	
馬渡洋服店	同 北門町十三番地	電一五三八番
升川洋服店	同 榮町一丁目三拾番地	電二〇四四番
古川洋服店	同 京町一丁目六番地	電一七八六番
古川義洋服店	同 京町一丁目三八番地	電三四四三番
藤田洋服店	同 末廣町一丁目十七番地	
恒泰洋服店	同 太平町一丁目七六番地	電二六八七番
秋元洋服店	同 大和町三丁目二番地	電九二番
青山洋服店	同 京町一丁目三六番地	電三四六二番
共進堂洋服店	同 本町一丁目二三番地	電二〇一九番
協成洋服店	同 太平町一丁目四八番地	電二九〇三番
菊地洋服店	同 新富町五丁目拾五番地	電三五五二番
行成洋服店	同 本町一丁目十八番地	電七二〇番
湯德洋服店	同 榮町三丁目五番地	電一五三七番
昭和洋服店	同 太平町一丁目九拾番地	
森岡洋服店	同 京町二丁目二番地	電一二六九番
スミカ洋服店	同 本町二丁目四六番地	電一六一一番



スポーツ薬 サロメチール

たゞ皮膚に擦り込めば宜い

「足を挫いた」「指を突いた」「打身をした」「關節が痛む」「腕が腫れた」といふやうなとき……

迅速に深部の炎症を消散するは周知のところ。

練習後の疲勞と筋痛とは翌朝までに解消して置くことが競技のコンディシヨンを最良ならしめる秘訣である……

その方法として、入浴後のサロメチール塗擦が最も効果的な解消法であることが實證せられ、多々益々賞用される。

競技の前に用ふれば…消爽なる快感を與へつゝ皮下に滲透して、筋肉に生氣を賦與し……運動能力の昂進劑としても素晴らしい効がある。

一圓・五十錢
二圓五十錢
藥店にあり

田邊商店
東京…大阪

クラブビシン
クラブはき白粉
クラブ水白粉
クラブねり白粉
クラブ粉白粉

夫人も令嬢も
美しく朗かです

クラブ白粉

A夫人のお話

「この間、私の宅で愛用化粧品の持寄り座談會を開きましたの。すると、お集りの
二人の御夫人
三人の御令嬢が
揃ひも揃って
クラブ化粧品の
御愛用者でした
クラブ化粧品の素晴しい人氣には全く驚かされますわ」

山海關の戰火漸次擴大す

日支兩軍ぞくぞく兵力集中．銃聲．砲火轟く

山海關に日章旗輝く

三日正午完全に占據す

（天津三日發聯合）我軍總攻擊開始四時間の後正午落合枝隊は南門突破城頭高く日章旗を揭げた、この戰鬪に吉田勝次郎中尉、田島軍曹名譽の戰死を遂げた

（天津三日發電通至急報）今朝九時より一齊に開始せる陸海空軍共同總攻擊に於て正午山海關南門一帶を完全に占據した

海陸呼應して總攻擊開始

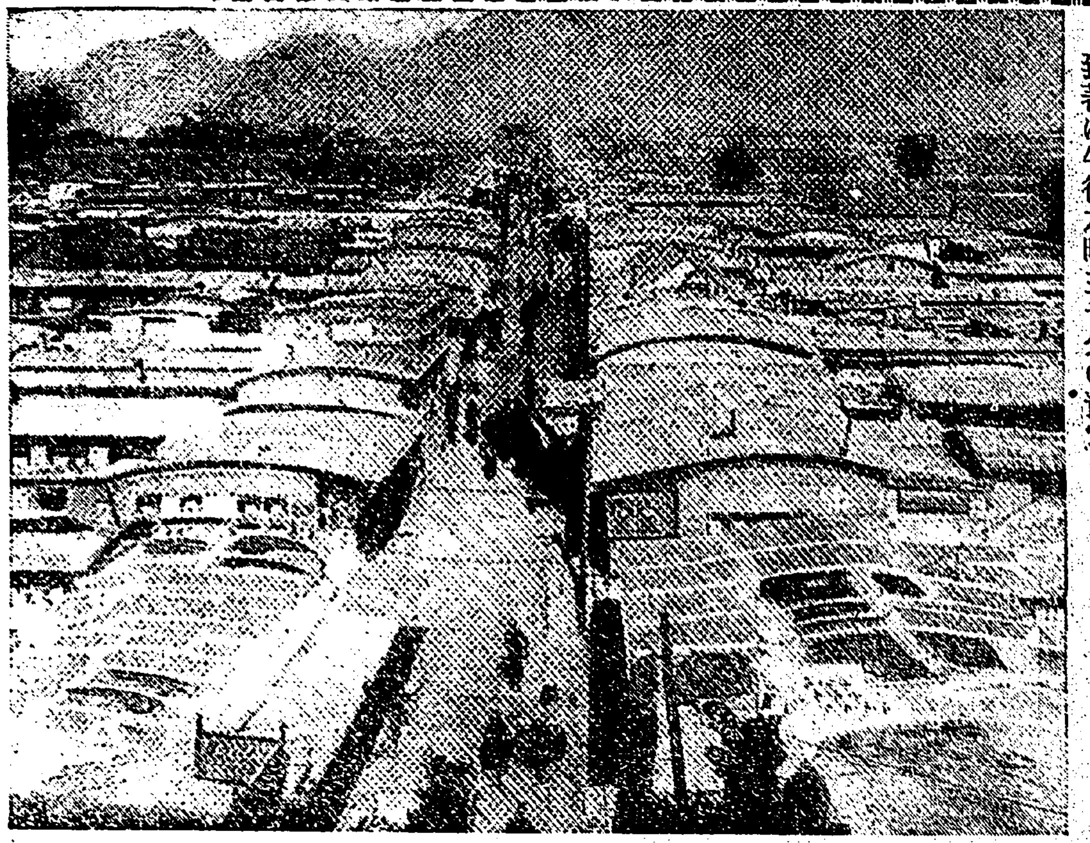
（天津三日發聯合至急報）山海關沖に待機中の驅逐艦○隻は第○○旅團主力も今早曉到著したので愈々海陸相呼應して午前九時總攻擊を開始した、支那側は何柱國が總指揮してゐる

（天津三日發電通至急報）我軍は三日午前九時愈々山海關總攻擊を開始した

增援隊を得たる支那軍

我軍に向つて頑强に抵抗

（天津二日發聯合）山海關の日支兩軍は引續き激戰中で第○○隊主力は二日午後二時より四時迄に到著第一線の戰鬪に參加し午後八時支那側も增援隊到著、頑强な抵抗をなし猛烈な銃砲火を交へてゐる、戰況は漸次擴大我關外第○○部隊よりは○兵○兵○○部隊出動し到著は午後六時三十分の豫定



擾亂の巷と化したる山海關
（城內の展望）

△△△山海關小解△△△

[illegible]に從つて占據された山海關は、前に渤海を控へ後には峡々たる山脈を負ひ東北に[illegible]要害地といふ[illegible]である、[illegible]天險として[illegible]時代に築造したもので城の高さ三十餘尺、東西南の三門を備へ東門の樓上に「天下第一關」の[illegible]が揭げられてゐる、山海關は一名[illegible]從來支那[illegible]として名高い

日支兩軍の動き

【天津三日發電通】その後判明せる支那軍の行動左の如し
天津、塘沽間駐屯の[illegible]第十三旅は山海關方面に向け昨夜來移動しつゝありその後詰として天津の北方[illegible]村に駐屯せる[illegible]第十六旅の一部が移動した

◇

【天津三日發電通】支那軍の配備詳細は判明せぬが灤州附近駐屯の第二十[illegible]旅は一部を北戴河に大部分を昌黎東方の[illegible]に向け移動した

◇

【天津三日發電通】北平軍小分會は山海關北方[illegible]駐屯の第十九旅[illegible]一部は既に熱河に入つたの[illegible]部に對し山海關[illegible]協力方を發令した

◇

【天津三日發電通】天津支那駐屯軍に屬する山海關の我守備隊は本日關東軍より急派された第○○○

事態の意義を確む

米國政府はそれまで靜觀

【ワシントン二日發電通】アメリカ政府當局は山海關に於ける日支交戰の報を受け右交戰が日支間の新らしい軍事的及び政治的衝突を惹起し日支間に更に不幸なる結果を齎しはせぬかと憂慮してゐる、一般には今次の交戰は豫てから豫想されてゐた日本の熱河侵入の序曲をなすものだと見られてゐる、[illegible]軍事行動が長城以南に及び北平天津にある外國人の生命財産が危險に晒されることになりはせぬかと憂慮されてゐる、[illegible]では目下の所では滿洲事件、上海事件に於けるが如き抗議を爲すことなく現在の事態が如何なる發展を有するかに付き[illegible]が到達するを俟つこととなつてゐる

上海方面は今のところ平穩

排日激化は免れまい

【上海三日發電通】山海關事件支那[illegible]休刊中で今の所上海方面は格別の影響は認められず、今後の影響如何を俟つ狀態で目下の所市內も平穩だが排日は結局激化すべく[illegible]されて[illegible]でも[illegible]だ特別[illegible]に[illegible]一切[illegible]へ[illegible]なきを期してゐる

支那軍の出樣で自衞行動止を得ず

根本方針は和平的解決にある

◆―陸軍當局の見解

【東京三日發電通】山海關事件に關し陸軍當局は語る
陸軍省は關東軍より未だ公報に接せず、今回の問題は最近熱河方面の情勢より見て當然の問題である、即ち滿洲國建國以來熱河に對する日本帝國の方針は從來湯玉麟自身が滿洲國建國式に立會つた關係もあり熱河は當然滿洲國であるから建國精神たる王道の樂政が行はれることにこれ努めて來たが、最近湯玉麟は學良の使嗾に反滿態度に出で且つ過般の第三次中央全體會議にても[illegible]な抗日態度を發明し、學良も十萬の兵を熱河に駐在せしめ正規軍政府の熱河移駐說を傳へられ形勢尖銳化されたる折柄、遂に何柱國軍と衝突するに至つた而して我軍の根本方針は飽くまで和平的解決にあるが支那軍の出樣に依りては自衞的軍事行動に出ねばならず、その責は一に支那側にあるは明瞭なりとの態度を持してゐる

支那側も死守の覺悟

學良より支那軍に電報

【北平三日發電通】張學良は在山海關の支那軍に對し今朝左の電報を發した事判明した
日本軍に對しては一歩も讓らず飽くまで抵抗し山海關を死守すべし兵力不足せば平津方面より援軍を派遣の準備あり
此點に見るも山海關の支那軍は相當頑强に抵抗すべく事件は一層擴大すべき形勢にある

『河北の危機切迫す』

學良より中央政府へ打電

（天津三日發聯合）張學良が中央政府に打電したところによれば何柱國の調停不可能で事態愈よ擴大の確能性あり河北の危機切迫すと

津田司令官を乘せ

旗艦、秦皇島へ急航す

第二遣外艦隊が在留民保護

【靑島三日發聯合】山海關事件の報により靑島在泊の第二遣外艦隊では二日旅順から第○○驅逐隊を秦皇島方面に派した六當地にあつた旗艦○○も三日午前五時津田司令官以下幕僚を乘せ同方面に急航し在留民保護に當る事になつた

[illegible]の指揮下に入つた

◇

【北平二日發電通】[illegible]第○○[illegible]午後六時四十分山海關[illegible]戰鬪[illegible]あり、又[illegible]は二日午後五時五十分[illegible]地に向つた

錦州○○

出動を待つ

【錦州二日發電通】山海關事件勃發[illegible]錦州○○は[illegible]、命令一下出動を待つてゐる

裏切られたる協定の內容

落合、劉の兩責任者間で成立しなりしもの

【天津二日發電通】[illegible]學良に宛てた[illegible]にある[illegible]との協定を實施するため[illegible]りたる際[illegible]の協定と云ふのは二日午前十時、我守備隊長落合少佐と何柱國不在中の代理者たる[illegible]との間に成立したるものを指すものでその要領は
一、山海關、南關には支那の保安隊[illegible]人しあるを以て日本軍は南關[illegible]
一、支那軍との衝突を避けるため南關における支那側の防備を撤去し南門城壁上の支那軍を撤去せしめ南門は日本軍で保持するに同意する
と云ふもので右協定成立し我軍が之を實施すべく行動を開始するや支那軍は之を裏切り突如發砲し來つたもので今回の衝突原因は茲にある

劍道二段で溫厚果敢の勇士

老母一人が鄕里で留守

戰死した兒玉中尉

【天津三日發電通】山海關で名譽の戰死を遂げた札幌第二十五聯隊（[illegible]）の兒玉中尉は[illegible]上下の[illegible]であつた[illegible]には老母一人が淋しく留守してゐる

テルに一泊した[illegible]は三日午前九時[illegible]に西園寺公を訪問[illegible]の對策[illegible]に付き[illegible]し十時[illegible]十一時二分興津發[illegible]に入つた

壯烈な最期

【天津三日發電通】[illegible]戰死せる兒玉中尉は[illegible]を受け壯烈な戰死を遂げた、[illegible]る兵も[illegible]である

蔣介石急遽歸京

三日奉化發

【上海三日發聯合】急報に接した蔣介石は三日午前八時軍艦[illegible]で故鄕奉化から上海を[illegible]、孫科、宋子文[illegible]要人と會見直ちに南京へ向ふ筈、[illegible]休暇で來滬中の諸要人も三日から四日にかけ續々南京へ歸る筈

學良の側近者米國記者に語る

【北平三日發電通】張學良の側近者は山海關事件に付き今朝米國アメリカ新聞記者に左の如く語つた
日本側の通牒は確かに受取つた然しその要求は多分拒絕されたであらう蓋し支那軍は自身の土地を防禦するために闘つてゐるのであるから安協は出來ないのである

北支各國紙の論調

【天津三日發電通】三日朝の各漢字新聞は社說に筆を揃へて事件を誇大に報道し日本惡宣の宣傳をしてゐるが英字紙北京天津タイムスはルーターが山海關事件を默過したので衝突の報道は支那側の宣傳報道を轉り日本に稍不利な記事を載せてゐる、一方ノース・チャイナ・スター（アメリカ系）は一昨日以來[illegible]とさへ見られてゐたが今朝は日本に好意的に取扱つてゐる

南遣相國公訪問

【興津三日發電通】興津町東海ホ

けふ政治初め

【東京三日發電通】四日は政治初めにつき齋藤首相以下各閣僚は午前十時[illegible]に參內同三十分東二の間に於ける政治初めの儀式に[illegible]後官邸に於て初閣議を開き來る六日の定例閣議は緊急附議事項なき限り取止めることとなつた

駐日露大使

近く更迭

後任はカラハン氏有力

【東京三日發電通】駐日ソヴエット大使として在留五年となるソヴエット大使トロヤノフスキー氏は昨秋より歸國を希望してゐたが愈[illegible]頃歸國に決しその後任に付きては色々取沙汰されてゐる現外務人民委員次長カラハン氏が有力視されてゐる、而して[illegible]成立以來ソヴエット外交の[illegible]カラハン氏を[illegible]我國に[illegible]せしめんとするもの[illegible]の如く[illegible]模樣である

米問題は

有利に展開

平塚長官は六日上京

政府の米穀調査委員會は昨年米特別小委員會に於て小委員案の作成を終り[illegible]之を總會に移す手筈となり來る十一月[illegible]總會[illegible]が平塚長官は[illegible]六日出帆の[illegible]にて上京する事となつた、[illegible]大體に於て有利に[illegible]しつゝあり之以上[illegible]はないものと見られてゐる、又米[illegible]問題について[illegible]として[illegible]總會出席の[illegible]來る九日の[illegible]にて上京する模樣である[illegible]

◇シナチク◇

[illegible]行きを[illegible]しまれてゐた北支の形勢は山海關事件でいよ〳〵火がつき日支兩軍を[illegible]いきり立たせることになつた、實は[illegible]から正月[illegible]何か問題が起りはしないかといふ[illegible]が頭にしてゐた、[illegible]問題が起るとすると[illegible]方面ではないかと考へられてゐたところ案外山海關方面に火の手があがつた▲陸軍側では今度の支那の[illegible]的行動を[illegible]から出た[illegible][illegible]コレ見よがしに日支衝突の實情を見せ付けやうといふ[illegible]しく、どつちにしても[illegible]ないやり方で、日本としても[illegible]に支那の[illegible]を[illegible]しなくてはなるまい。

大阪商船 基隆出帆
[illegible]

近海郵船 基隆出帆
[illegible]

レザークロス
絹ミシン用糸
ロープ各種
カタン糸
臺北本町
石田商店
電話二四九一番

謹で新年の慶を賀し申します
新鮮な酒食糧品を……
◇配達は迅速に……親切を本位に……
酒食糧品商 藤山商店
臺北市新起町二（西門市場西側）（新起町郵便局隣）電話二七〇九番

專賣　商標　特許
寒さ冷さ御心配御無用の事
610 HAP
六一〇ハップ
（溫泉藥）
一石五斗の湯に（普通の風呂桶）本品を茶匙一杯入れただけで溫泉氣分樂しく身體はこ〳〵と何時迄も溫く冷え性の方に是非御使用
入浴劑[illegible]
臺灣賣捌元 株式會社 宅商會

登錄商標
ミクニ
子達の爲に――しるこの餅が待つ！
日・英・米・獨・佛特許
榮養しるこ
コーヒ紅茶の代用品、飲料界のスター、しるこ界の革命兒、ミクニ印榮養しるこは小豆の有效成分で消化良く容易、さらしあんの様な臭味なく滋養分を完全に保有し、香味、風味共に絕佳不惑の御茶客に第一家の[illegible]に、是非一度の御用試を。
大罐 五十人分 [illegible] 小罐 二十人分 一五〇瓦入
臺灣賣捌元 宅商會

臺中市
上瀧汎

臺中市
入佐藤次郎

臺中市
宮澤廣佐

臺中市新富町
榊原辻太郎

臺中市
中村秀穗

臺中市橘町一ノ一四
鵜巢昇次郎

烏日庄長
鄭以春

臺中州霧峰郵便局
前田薰

霧峰庄
小兒科內科
懷仁醫院
院主 林春懷

霧峰庄
林資彬

霧峰庄
林幼春

臺中州東勢郡東勢庄
清原旅館
電話三番

臺中市錦町二丁目
中山商會
石版活版**印刷所**
多嘉嶺明經
電話七八三番

日本ゼネラルモーターズ株式會社中部特約販賣店
ブリッヂストンタイヤ中部特約販賣店
GSバッテリー中部特約販賣店
臺中市橘町三丁目
東洋商會
店主 張清泉
電話一〇二八番

土地潤業
臺中市梅ヶ枝町二七番地
黎明信託部
芎木商會
主事 賴阿木

臺中公園內
御料理 **弘園閣**
電話一二五五・一一〇八番

臺中市
奧村文市

臺中市
常見秀夫

臺中市
岩瀨啓造

臺中市
緒方瀧治

臺中市
小鹽三治

臺中市
輿田四郎

臺中市寶町四ノ五二
川崎勘次

臺中市
長岡寬

臺中市錦町一丁目
辯護士 **渡部彌德**
電話八三三番

臺中市寶町二丁目
蔡蓮舫

臺中市橘町二丁目四番地
合資會社 **三共社**
野中德市
電話一〇一番

臺中市醫會

鄭傳對　林澄鎣　賴來成　周桃源　郭東周　蕭冬平　張得祿　黃朝清　林宗漢　張叔荷　陳螺　陳朔方　張蟲生　林澄清　彭蔡氏阿信　陳墩德　王清木　何清波　陳傳繼　林孟罷　林天定

大甲郡役所
宮野爲長
外間永彰
山口七郎
外職員一同

清水街
周貽楚　小林和助　李清奇

梧棲街
照沼善三郎　林廷錫

大甲街
柴田一平　鄭進丁　江頭潔

外埔庄
杜傳明　李臻賢

大安庄
李晨鐘　黃青年

沙鹿庄
大岡泰曉　林貢　陳會

龍井庄
劉泉源　陳壬申　黃朝應

大肚庄
馬場儀次郎　楊塗生

外街庄役場職員一同

臺中市
中田榮次郎

臺中州東勢郡役所
古藤誠助

臺中州豐原郡役所
熊井才吉

臺中市錦町
丸三藥房 **藤井一康**

運動具商・堀江商會
齋藤守
臺中市榮町二ノ四
電話一二〇

臺中市大正町三丁目記念館向
華盛美髮館
電話一三五四番

臺中市老松町四丁目　電話一一三三番
和洋建築設計施行監督
齋藤辰次郎建築事務所

活版石版印刷
和洋紙文房具
諸帳簿事務用品
諸帳簿及製本
商標 Ⓑ
臺中市錦町三丁目
尚文堂本店
電話一〇五番
印刷所 臺中市錦町四丁目

大阪商船株式會社
臺中[illegible]所
臺中市橘町三丁目
㊣ **臺灣通運合資會社**
電話三〇七番・九六四番

臺中市寶町二丁目
ナカオカ寫眞館
電話四六〇番

臺中消防組

臺中市榮町一ノ一九
臺灣地方自治聯盟本部

臺中州自動車協會

臺灣臺中寶町二丁目
東京內田 靴鞄店
臺灣出張所
電話二〇六番

臺中市櫻町三丁目
中南運輸株式會社
電話三六五番

臺中市大正町三丁目
各種紙函製造
宮本紙函店

磯野七平鑄造所
磯野式深耕犁發送部
臺中市錦町三丁目
電話三二二番

臺中市櫻町三丁目
東京帝國大學
演習林事務所

臺中州米穀商同業組合
中部米穀取引改善協會
臺中市橘町四丁目
電話四七五・七六四番

有限責任
臺中信用組合

臺中市橘町
臺中 彰化
朝日自動車合資會社
電話八四七番

日用雜貨
臺中市榮町三丁目
㊍**日興商店**
電話六〇九番

日月潭自動車商會

臺中市寶町三丁目
福井治雄臺中支店
電話八四〇番

紙文房具
科學器械
活版印刷
臺中市錦町二丁目
森商店
電話三一番

臺中州東勢食鹽元賣捌人
施議祥

日用品雜貨
食料品取次所
東勢庄東勢
一心商店
古山四方吉
電話二三

有限責任
臺中州大屯郡霧峰庄
霧峰信用購買販賣利用組合

乘合貨物自動車營業
近藤自動車部
近藤良吉
臺中州東勢郡石岡庄
電話東勢六番

謹賀新年
臺中公園前
御旅館 **青辰**
電話四七三番
御料理 **日之本**
電話一一七・一六七番

臺中料理屋飲食店組合

臺中市新富町三ノ二四
臺中氷仲買人組合
電話三四七番

臺中市醫師會

石津坂一　吉田清治　辻守昌　南尚一　宮原武熊　古市虎熊　鈴木武夫

臺中市協議會員

岩瀨啓造　林原彌太郎　服部彌太郎　川崎勘次　野津三次郎　山口義章　藤井一康　小鹽三治　日高茂　陳朔方　林澄坡　蔡蓮舫　林耀亭

臺中材木商組合

臺中市錦町三丁目
東勝材木合名
電話一二四番

臺中市新富町四丁目
東興材木行
電話七三一番

臺中市綠川町四丁目
松山商行
電話一〇〇九番

臺中市綠町一丁目
協和商行
電話七〇八番

臺中市新富町四丁目
株式三振商行
電話三三九番

臺中市新富町三丁目
大森材木行
電話六二五番

臺中市寶町二丁目
臺日運動具部
臺中出張所
電話一四一番

臺中州北斗郡溪州庄
黑田秀博

臺灣煙草賣捌人組合
臺中支部員一同

臺中吳服商組合
石川吳服店
平吳服店
肥後屋吳服店

臺中市大正町五丁目
服部醫院

臺中市寶町一丁目
安田醫院

臺中市大正町三丁目
森部醫院

臺中市榮町三丁目
林醫院

謹賀新年

臺中二一會員

馬場商店　河村商會　華生園　高橋糸店　棚邊書店　內田靴店　丸三大藥房　マスニ商店　松田硝子店　安西商店　吉備商會　調商店　末廣菓子舖

謹賀新年

酒類賣捌人組合
臺中支部一同

河東富次　水田胸二　津島吉兵衛　矢住信夫　陳添丁　大岡泰曉　楊全　園田喜次郎　林建宗　笹川貫治　詹國　好田茂　廖朝舟　中山直　林爐　林嘉總　鄭謹　井上槐次郎　蔡玉邦　林錦　陳明貴　詹德芳　劉阿喜　王峻槐

臺中州食堂會員一同

臺中市橘町二丁目
臺灣青果株式會社

臺中市柳町
臺中州青果同業組合

臺中市綠川町
臺灣青果同業組合聯合會

臺中州大甲郡沙鹿
沙轆製糖株式會社

臺中市壽町壹丁目二番地
臺中實業協會 工業俱樂部
（電話六一七番）

王道與滿洲國

滿洲國國務總理鄭孝胥

當世列國所用。以造成國民之思想者。豈不曰愛國乎。所用以養成國民之道事者。豈不曰軍國民之教育乎。各國所以練習其國民者。唯恐落於人後。豈知愛國之宗旨。即為仇外之對象。軍國民之資格。即為國戰之先聲。此皆建成國覇之策。而世界之戰禍。已釀成於習慣之中。種因得果。不至於破壞治安。戕滅人類不止。凡推力火器之技。日進未已。兵機之精。軍費之鉅。皆百千倍於往日。戰事未決而人民之死亡。財用之耗竭。已立見矣。王道者。乃今日起死回生之良藥。消世界之戰禍。而致之於安居樂業之途者也。果行王道。必先滌除愛國之思想。而以博愛為主。必先革除軍國之教育。而以禮讓為先。

王道之學。謂之內聖王之學。王道至大。而不能求之於大。王道至遠。而不能求之於遠。然則王道安在乎。今以一言蔽之曰。在於人己之間而已。內聖者王道之居於己者也。外王者。王道之居於人者也。

更引孔孟之說以證之。

顏淵問仁。子曰。克己復禮為仁。一日克己復禮。天下歸仁焉。為仁由己。而由人乎哉。

天下歸仁。乃王道之極則其所以致此者。乃在於克己復禮。人己感應之機。似微而至顯。似緩而至捷蓋必驗之事實。而後知求之於人者。徒勞而無益。發動之力。固在此不在彼也。

子路問君子。子曰修己以敬。曰。如斯而已乎曰修己以安人。曰。如斯而已乎。曰修己以安百姓。修己以安百姓。堯舜其猶病諸。

君子有位之稱。修己以敬所謂惰慢邪僻之氣。不設於四體也。修己以安人。所謂老者安之。朋友信之少者懷之。修己以安百姓所謂禹思天下有溺者。猶己溺之也。稷思天下有飢者。猶己飢之也。堯舜以天下之任責己。故與禹稷同意。

子貢曰。如有博施於民而能濟衆。何如可謂仁乎。子曰。何事於仁。必也聖乎。堯舜其猶病諸。夫仁者。己欲立而立人。己欲達而達人。能近取譬。可謂仁之方也已。

博施濟衆。其功難成。求之於人。終無止境。不如返而求己。欲立而立人。欲達而達人。則由小而大由近而遠。步々踏實。不待功成。而感應之效。一日千里。此即踐履之實地擴充之要術也。

大舜有大焉。善與人同舍己從人。樂取於人以為善。自耕稼陶漁以至為帝。無非取於人者。取諸人。以為善。是與人為善者也。故君子莫大乎與人為善。

舜以庶人。而為天子。以舍己從人為行。故天下服之。示於取諸人以為善。則遠除人己之界矣。

孟子曰。愛人不親反其仁。治人不治反其智。禮人不答反其敬。行有不得者。皆反求諸己。其身正。而天下歸之。

行有不得。而求之於人。此天下所以寄亂。王道所以不行也。反求諸己。則不親不治不答之故。顯然易見。感應之機。捷於影響。王道易行端可信矣。

以上皆說明王道要術。在於人己之間。大學一篇。為王道具體之學。朱兪德秀大學衍義一書。可備參考。

孝胥欲編王道修己學。分為四課。日敦義。敦讓。日戒傲。戒貪。惜猶未成。

王道或問

或曰。當世各國。莫不汲汲於造成愛國之思想。並養成軍國民之資格。今乃獨倡王道學說。以博愛為資本。以禮義為器械。不製戰具。不崇武力。使列國忌而陵之。則將揣其所為。而不施抵禦乎。曰不然。此在秦並之時代。無自保之武力。則誠不足以自存。拿破崙威廉第二。既以吞併失敗。今日各小國。猶足獨立者。以其無害。且不能為害。故各大國。亦相視莫動。蓋以均勢之局。將以吞併而樊。然則小國之安危。即大國之安危。觀洛桑日內瓦之議場。皆設於瑞士。豈非以其不招猜忌。反得為世界之華胥耶。若王道之國興於亞洲。則於當世列强固有利而無害。雖不製戰具。不崇武力。而舉世之戰具武力。不啻代我而施抵禦。欲忌而陵之。以肆其無理之行為。恐必難於發端。而冒天下之不韙矣比年以來。舉世已厭兵之時代。王道果行。舉世之思想。必將改變。於軍縮弭兵之進步。將有意外之速化。所慮者唯共產政策。彼所持傾覆世界之計畫。將於我為思想之勁敵其勢必不能兩全者也。

朱芾亭氏畫

陳英聲氏畫

金鷄報早曉

癸酉元旦　李贄生

李贄生氏書

希設臺灣藥專學校
或置藥業科於醫專
以維持漢藥於不墜

臺灣漢醫生。三十年來已不再試驗。逐年減少。如昭和六年末現在。全島只存三百五十二名而已。然漢藥店尚有二千六百餘店平均七八店之中。只有醫生一名。此醫生中。年老不能行醫者不少。結局十店只有一醫而已。其他多以密醫從事。當局檢舉頻々。藥店皆不能安心就業如昭和六年中。當局調本島人腸窒扶斯患者。皆由密醫隱蔽不報。以致蔓延當時內海警務部長。令下檢舉令。被檢舉者無算。斯業者大有岌々之勢焉。

漢醫復活運動　昭和四年以來。東洋醫道會臺灣支部長陳茂通氏。糾合本島藥業者及一般有心人。會向議會請願漢醫生試驗制度。重新施行。一昨年又得全島有力者五萬餘人參加。由本島人中各地總督府評議會員。攜陳情書五萬餘通。向石塚總督陳情漢醫復活。事關重大。迄未實現。雖然。漢醫雖未復活。漢藥亦須利用。由現在臺灣醫師分布狀態。及本島人經濟現狀。漢藥功效而觀。漢藥不獨不可廢。且宜進而研究之。頃者臺北州衛生課池野技手。會於臺北漢藥業組合總會席上以個人意見。陳述漢藥店既無醫生。宜置藥劑師。以圖漢藥之調製向上。如得新設藥業學校。養成藥劑師。實為適切。蓋內地藥專。不下十數校。朝鮮亦有之。如東京。大阪。京都。千葉。明治。長崎。熊本。金澤各處。及東京女子藥專二三校。大阪女子藥專等。年々養成藥劑師千餘名。而本島尚無一校。亟宜設置。如因經費所關。則於臺北醫專置藥業科。亦是一法望當道計及之。想島人士必起而共鳴之。促進之也

勅題朝海

○　魏惠川

堂々昔代唱登魁。旗影翻風欲曙天。春入洪崖瀧噫首。律回大地日迎年。群光燦燦臨三島。雅頌雍容納百川。英道望洋誰可測扶桑飛旭正高懸。

○　吳士茂

開國遙望國東方。曙色微明海色蒼。縹緲群巒紫翠士。殷紅滿旭照扶桑。任他騷氣々浮幻。化被妖氛盡斂藏。有幸逢時生盛世恩波充溢太平洋。

○　陳元亨

曈々旭日照東洋。萬派朝宗波不揚。四海安瀾歌有興。普天同慶頌無疆。百川來滙皇恩大。一系相承帝澤長。光被環球容納細澄清宇內喜三陽。

○　江烈文

天雞唱罷旭昇東。極目滄溟接碧空。艷々微波連曙白。曈々曉日滿江紅。輕消霧散神山見。轉度航行異域通。我得乘風沖破浪亞歐共視一仁同。

○　胡揚柳

朝曦上照海迷空。雲影天光一鑑同。船去船來波靜裏。人謡人頌棹搖中。初春山笑還無雨。獻歲潮平未有風。萬頃不揚徵瑞氣資琛遠使入瀛東。

○　賴柏舟

曈々旭彩出扶桑。群聚朝宗百谷王。貝闕鮫光新氣象。迷離出澤古文章。春臨紫石源頭遠。彩淡銀濤地脉長。顆玉一輪浮瑞靄千秋有客感汪洋。

○　林朝宗

曈々瑞色起扶桑。四海波平浴日光。巨舶遠航檣既濟。朝曦高射照重洋。長鯨破浪迷離認。淺潮歸帆隱約揚。最愛黎明風景好屠蘇酒酹慶春王。

新春雜詠

吟香　逸史

一辭舊歲迎新歲。享得千春萬萬春。日暖綵旗芳景麗。屠蘇相對玉樓人。

蝶翻香砌柳迷窗。曼舞輕歌大有情。戲把軟紅蹤跡明月。笑郎不及妾輕盈。

踏青迷袂訪芳鄰。暗把金釵卜六爻。羞煞花間双雀鳥。翩翻弄影自咬々。

十分春色有無中。領略芳心各不同。夢裡驚鴛疑外月。那堪腸斷五更風。

○　范良銘

落盡殘々柳陰中。無數花開白映紅。不用別尋春色去。自家庭院有東風。

又向東風景物新。陽和日暖慶王春。年々自愧渾無事。馬齒徒增一個民。

歲月逍遙麗彩霞。西湖處士不離紗。招邀賓客三春酒。多在東風感歲華。

小々銀瓶淡色香。家々正月慶春王。一觥我獻屠蘇酒。來祝同胞福算長。

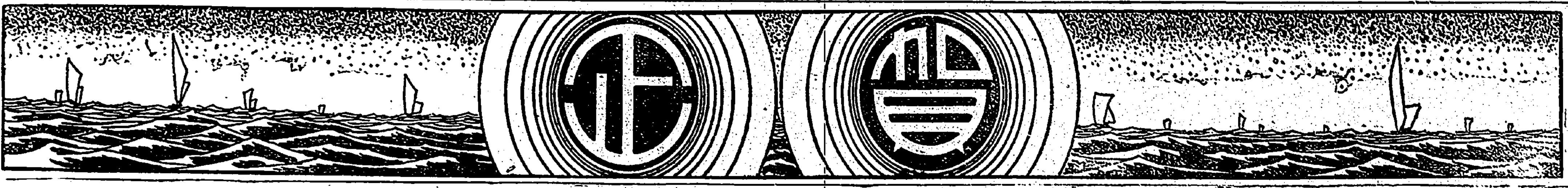
○　蔡文楣

飛將片紙賀三元。吉語爭題往復繁。我本未分謀一面。還通姓字到家門。

兩行戶外列森々。皮似龍鱗葉似針。晚節高於雞下菊。幾人還抱歲寒心。

蒸稱稱就迓新春。[illegible]花朵上陳。堪與年年同一飽。團圓認得補吳均。

淫候鞠就掛門前。荊楚遺風海外傳。疑自未成文字日。古人誌此紀新年。



資本金　五千百四十一萬六千六百圓

大日本製糖株式會社

社長　藤山雷太

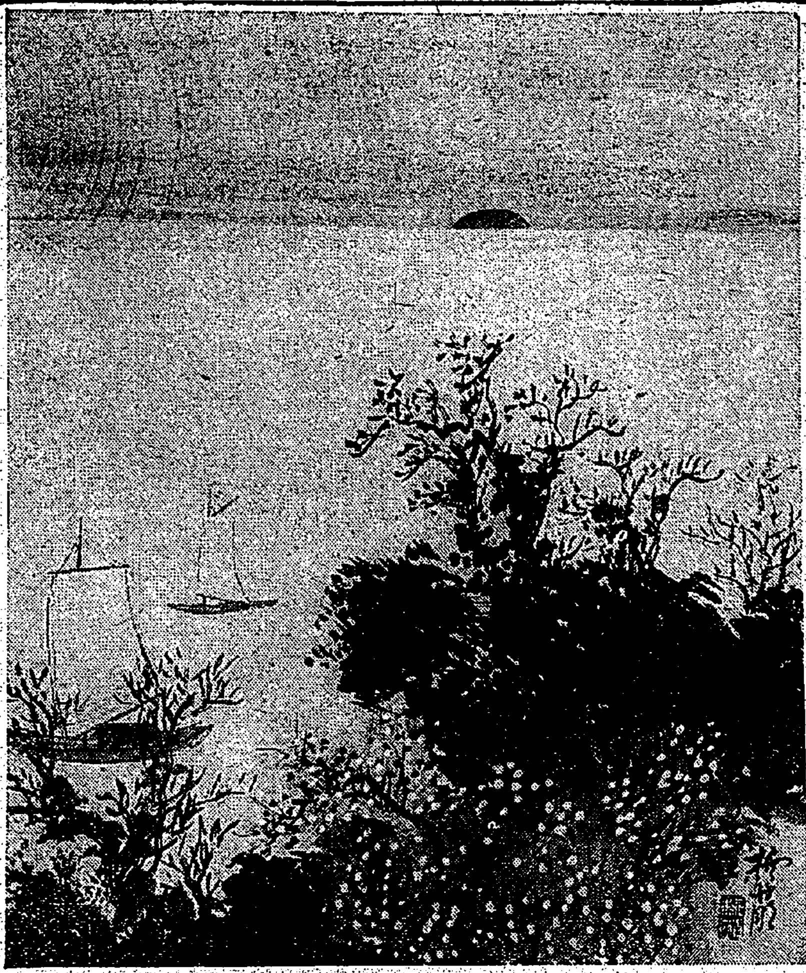
臺灣支社理事　庵地佑吉

本店	東京府南葛飾郡砂町
東京出張所	東京市丸ノ內二丁目昭和ビルディング六階
臺灣支社	臺南州虎尾郡虎尾庄
朝鮮支店	平壤府船橋里
名古屋出張所	名古屋市西區下園町四丁目
大阪出張所	大阪市北區若松町
朝鮮支店京城出張所	京城府堅志洞
上海出張所	上海廣東路九號
爪哇派出員事務所	Gading Straat No.16 Ketanbang Soerabaja Java

臺灣支社

虎尾製糖所	臺南州虎尾郡虎尾庄
斗六製糖所	臺南州斗六郡斗六街
北港製糖所	臺南州北港郡北港街
月眉製糖所	臺中州豐原郡內埔庄
烏日製糖所	臺中州大屯郡烏日庄

東京工場	東京府南葛飾郡砂町
大阪工場	大阪市東成區友淵町
大里工場	門司市大里
朝鮮工場	平壤府船橋里
爪哇工場	Gedaron Afd. Klaten Solo Java
大東島製糖所	沖繩縣島尻郡南大東島



朝海　末延柳萠畫

聯盟の動向

日本に對する制裁 實行性なきは明瞭

小國側の主張に成功性なく 大國側の妥協が結局勝利か

神川彦松

滿洲事件の最終的解決を導き出すべきリットン報告も今や聯盟理事會より總會に移牒せられ十二月六日より開かれた總會に於て同報告を中心として一大討論が開始された、聯盟に於ける滿洲事件の處理も將に最後の段階に迫り果して如何なる終局に到達すべきか全世界の關心を一點に集中せしめてゐる有樣である、果して聯盟は滿洲事件の圓滿なる解決に成功し得るであらうか、所詮この兩者は決裂を見るの外ないであらうか、聯盟々の對立は果して解消し得られるであらうか、從來の日本と聯盟の形勢、進んでは全世界の平和は之等の諸點に懸つて居ると云ふも過言ではないのである

對立の尖鋭化

昭和六年九月滿洲事件が聯盟の舞臺に上せられてより以來日本の主張と聯盟の主張とは相對立し數多の波瀾を經過した事は世人の記憶に新たなところである、この日本と聯盟との對立はリットン報告書完了前に我國の滿洲國承認といふ新事實により愈々尖鋭化せられるに至つたことは誠に遺憾に堪へざるところである、九月四日北平に於て完成せられ十月二日全世界に於て一齊に公表せられたリットン報告書は吾人が豫期したる如き滿洲事件の最終的解決を促進せしむるものではなく却つて之を

困難

ならしむるものであつた、本來リットン調査委員會なるものは昭和六年十二月聯盟に於て全く行詰まりに陷つた滿洲事件處理を打開する爲、政治的理由より結成せられたものである、その理由の第一は解決不可能なる滿洲事件の處理に對し時の餘裕を得る爲めであり、その二は滿洲事件の原因經過等を現地に就きて調査し事態の眞相を闡明し事件の政治的解決を幫助するにあるのである、調査委員會の任命よりリットン報告書の提出迄殆ど十ヶ月を要したから時の餘裕を作るといふ點に於ては委員會はその使命を果したのである、然しその報告の內容に至つては多くの誤解不當及妥協を含むのみならず不必要なる批判を敢てして事件の政治的解決を不可能ならしむるが如き大失態を演じ第二の使命を全く盡さざるに終つたのである

理事會の無能

我國は滿洲事件を處理すべき權能を有するものは規約第十一條の手續による理事會であると云ふ主張を終始一貫把持し從てリットン報告書を論議し事件の解決を計る機關も當然理事會であるとなし所謂十一月二十一日より開かれた理事會に臨んだのである、然るに理事會は既に日支兩國代表の意見を聽取したのみで何等案の出づるところを知らず一切の問題を擧げて總會に移牒するに決したのである、固より聯盟の解釋に於ては日支事件は滿洲問題を含み去る二月理事會より總會の審議に移されたものである、從つてリットン報告の取扱ひ並に紛爭の解決に對する努力は總會によつて行はるべしとなしてゐるのである、然し滿洲事件に對し規約第十五條の規定を適用することは我國が斷乎として反對する所であり又滿洲事件に對し調停の努力をなす權限が必ずしも聯盟理事會より奪はれたるに非ざるにも拘らず理事會がリットン報告に關し何等の措置にも出づることの出來なかつたことは大國側の無爲無能を表明するものであらねばならない、理事會をして手を引かしめたことは支那側並に小國側の第一戰に於ける勝利と見ざるを得ないのである

總會の形勢

然らば十二月六日より開催された臨時聯盟總會はリットン報告書及滿洲事件の解決に對し如何なる態度に出づるであらうか、滿洲事件の處理に對する小國側の主張は之を想察するに難くはない、蓋し小國は自國の政治的獨立及安全保障を一に聯盟の權威に依賴してゐるものであるから飽く迄聯盟の主義原則を擁護し之を嚴格に適用せんとするは當然である、既に去る三月十一日の臨時總會の決議に於て日支事件に對し聯盟規約の諸原則

規約

の（一）條約の嚴然なる尊重の原則（二）外部の侵略に對し聯盟各國の領土保全並に現存の政治的獨立を擁護するの聯盟國の保障（三）聯盟國間に生ずることあるべき一切の紛爭を平和手段に付すべき義務に關し全般的に適用し得らるべしとなし又凡そ聯盟規約に反する手段により成立せしめらるることあるべき一切の事態、條約又は協定を承認せざるの原則を聲明してゐる、小國はリットン報告書の內容をその儘に採用しリットン報告書の提示する事實の敍述、批判及び解決案を日支兩國に勸說せんとするであらう、然るにリットン報告書によれば滿洲國は自然的分離によるものではなく日本の武力的

干涉

により作爲せられた〇〇國家であると斷じてゐる、從つて滿洲國の獨立は日本は支那の領土保全を侵害したるものとなし滿洲國不承認の決定をなさんとするであらう、若し日本が飽く迄も滿洲國の承認に執著し滿洲國の承認を撤回するに於ては規約第十條の規定を適用し日本の侵略的行爲を排斥する爲適當なる手段を講ずることを主張するに至るであらう、又第十條の規定の適用が效果なしと認ずれば規約第十六條の制裁條項を日本に適用せんと主張するに至るであらう、と思ふのである、然し純理主義を以て一貫する小國側と異なり英佛等の大國側に至つては小國側の態度の如く

單純

なるを得ない、大國側は一面に於て聯盟の權威を保持するにつとむると同時に他方に於て滿洲事件の政治的解決を圖らんと欲してゐる、小國側の單純なる法理的主張は常に滿洲事件の解決を不可能にし日本の聯盟脫退を不可避ならしむるものであつて政治的妥當性を缺くものである、リットン報告書は滿洲國を以て日本の〇〇國家となしてゐるけれども之が爲に滿洲國の不承認決議を採用することは滿洲事件の政治的解決を至難ならしむるものとして大國側は容易に贊成しないであらう、又日本の行動を以て支那の領土保全を侵害せるものとなし日本に對し規約第十條若くは第十六條を適用することも大國側の極力防止せんとするところであらう、殊に日本に對し第十六條の經濟的又は武力的制裁を加ふることは大國側が最後迄反對するところであつて到底小國側の斯る主張が成功する可能性はないであらう

米露の態度

聯盟に於ける滿洲事件の討議が如何なる方向をとるかにつき聯盟外の二大國たる米露の態度が大なる影響を有することは言を俟たない、この二大國は滿洲事件に對し最も重大なる利害關係を有する國である、聯盟の決定が如何なる政治的價値を有するかはこの二大國の與ふる支持の程度如何にあると云ふも過言でない、米國はかのフーバー、ドクトリンの本家本元たる關係上聯盟が滿洲國の不承認を決議し日本に對し道德的政治的壓迫を加ふるには贊成するかも知れない、然しフーバー政府たると又ルーズヴェルト政府たるとを問はず日本に對し經濟的壓迫を加ふるには斷乎たる反對を表明するであらう、ロシアに至つては英、米、佛等資本主義國家に對する對立國關係上聯盟の決議を有力に支持することはないであらうと思ふ

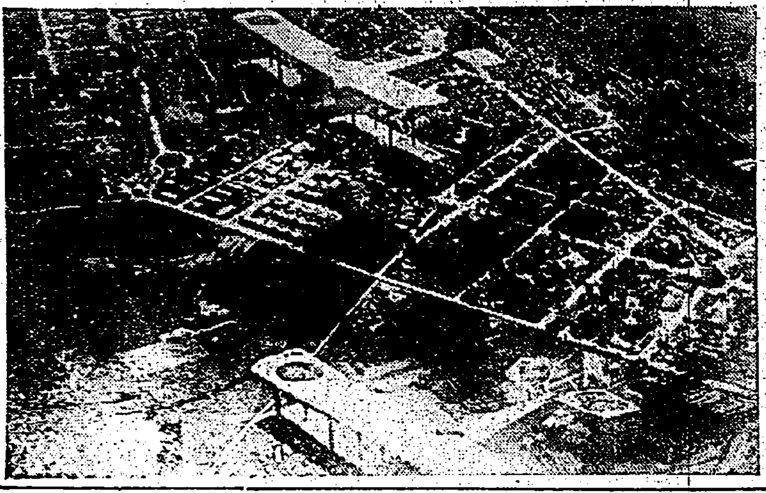
歸趨は如何

要之に純理上より觀察すれば聯盟における小國側の主張と我國の主張との間には何等架すべき橋が有り得ない、然し小國側の主張が貫徹しても結局空なる決議をなして其の無效果を暴露するの外はないであらう、蓋し日本に對する制裁の實行性なきことは一點の疑ひを存しないところであるから結局小國側の主張は成功性を有せず大國側の政治的妥協方針が勝利を占むるに至るであらうと思はれる（十二月八日）

勅題十詠

九十九嵓洞主人

今朝のあさけ潮みつらむか磯の尻ゆたかに見ゆる神の白濱
□
いさよへる[illegible]に朝日さし浪にいろ添ふ年のうみ
□
天つ日のかげもうららにこの朝明くもゐにつづく大海の原
□
玉くしげ二見の浦はあけ初めてあさひ子にほふ伊勢の入海
□
たかさごの島ねをめぐる春の海波もさわがず朝なぎにして
□
海風に汐みち來らしうち寄するなみの聲しろき明がたの濱
□
[illegible]すき朝凪らけかも敷しまの大和島ねをめぐるうな原
□
八十島のかげもうつりてこの朝明かがみに似たる瀬戸の海面
□
紀伊の海沢もしづかにさし昇るあさ日うららに田鶴鳴き渡る
□
[illegible]されるも朝日かげにはしと見る[illegible]わたつみの原



近く市になる屏東街（飛行機上からうつす）

市になる屏東

住民は寐耳に水

芽出度い新春の話題

新春早々

芽出度かる屏東街の市制施行を總督府換府議決定發表で見て始めて色めき立つた街住民ではあつたそして當時本紙の報道に實際の狀況はどうかと東港者の許へ二、三の問合せもあつた程で多少意外に水の眼が無いでもなく、夫程に意外に早く實施の聲を聞いたのでもある、現に角街より市への進出、それは內に於ける困ての充實を物語るもので新春早々芽出度かるべきである、共儕で振返つて屏東街の過去の歩みを辿つて現在を眺めると其沿革と數字の上に現はれた大體は斯うだ

明治二十八年軍政官制で臺南縣に屬し、次で民政支所、臺南、鳳山兩縣の所管を經て同三十四年十一月阿緱廳を置き同四十二年十月蕃薯寮（旗山）恆春兩廳を併合大正九年地方制度改正で高雄州屏東郡に編入され地名も屏東街と改正其の以前は明治三十八年三月府令で阿緱街と定めてあつた

行政區劃

の變遷は略以上の如しだが人口の動きをざつと見ると縣附園時代は約一萬、阿緱廳當時約二萬五千餘、現在が戶數七千九百二十七戶、人口三萬六千三百七十六人に增加して居る之れが最近の三ヶ年千人に對する增加率は昭和四年四十七人五二、同五年五十五人一七、同六年二四人七二と逐年千乃至千五百內外增加の趨勢を示し密度は一平方里九、〇九五人弱である

經濟狀態

から街勢を觀ると街の資產三千一百餘萬圓法人を除く戶稅の生產調查額が三百九十六萬八百七十八圓、國、州、街諸稅其他公課負擔額が四十四萬三千二百四十一圓の一戶當五十七圓四十五錢、一人當十二圓四十八錢、此の世帶を切盛する街有財產が公用と基本兩財產で百十九萬八千四百九十圓、街の歲出（昭和七年）二十五萬九千三百二十八圓

之が現在の姿である外觀亦其儘市役所に充當し得る堂々たる新裝の

街役場の

建物は寧ろ無當に市になる事の響きを聽つて居たのではあるまいかと思はれる程市への進路に在る街としては既に市としての資格を具備して居る、之れ迄にも當然、新竹に市制の布かれた時の街住民は悄然月並に屏東に市制施行をと言ふ叫びもないではなかつた、所が何時か一般に念頭を離れたと言ふよりは內容の充實や發展の趨勢を眺めて當然何時か市制は施かれるものとして彰化街の異常な膨脹發展や

市制實施

への街民の認識は餘りにも餘り刺戟されなかつたやうではあるまいか、現在では街に於て一部不理解な人々の樣に街が市に衣更へしてから直接何等の負擔もあるまい、然し負擔は增すではないかと言ふやうな人はまづあるまいが市制實施への進出に緣が足りない點は斷然無いであらうか、市と言ふ階段を形成する爲めには街住民は單細胞となつて御互ひに結合し其の實施の達成を計るべきではあるまいか

屏東市が

實現の將來に有つ使命は農村の都市として立つべきであらう、現在街住民の約四割が農業、漁業者を合せれば約六割を占めるとせば結局商工業の都市であるとも言へる所も遠く潮州、東港各郡や近接各部落隣接の集散地で農村をもつて生命としてゐる米、甘蔗、西瓜は其の大宗である、附近農村の異常な發展が屏東街を著しく充實發展させた其の實例に、大正九年十月地方制度改正で高雄に州廳が新設され阿緱廳が

廢廳とな

つた當時は將來の中心がどうであつたら、高雄に集中されるので屏東街は極度に寂れるとともに悲觀し氣の早い住民は高雄や其他を目がけ續々轉出して火の消えたやうな光景を呈した事がある、然も斷然農村をもつて立つ屏東街は行政廳の關係に關知する事なく默々として充實發展し阿緱廳時代二萬五千餘であつた人口は廢廳十三匝の現在では三萬六千餘に激增してゐる市街の發展膨脹が官廳の存在に係らないのは第一面

政治的な

市街でなく經濟的な市街であるとも言へやう、意外に早く機運に乘じたことは豫想外であつたと言ふ事はそれだけ市民に準備せよと促すものでもあると言へる用意怠りなき哉

何れにしても昭和八年は御互ひの努力によつて昨年より以上意義あり、そして我國の爲め記念すべき年と致し度い決心を以て迎ふべきではあるまいかと考へます

初めて新春を屏東で迎へる心境

飛行第八聯隊長　値賀忠治

帝國南門の重鎭として使命づけられた當聯隊長として着任後八ヶ月を經て國家も多事な昭和七年を送り、茲に聯隊將兵と共にそして深く私共の使命を理解され常に後援される各方面の方々と倶に共に新たなる昭和八年を迎へる事を衷心慶祝します

—×—

風土氣候に就て着任早々は私かに案じ屏東地方に勤務する者や街の人々に同情を寄せて居ましたが、僅かな夏秋冬の一部を經驗しただけの感想から申しても或意味では私の郷里の山形などより遙に暮し良い地方と感得しました、それに當地方には既に軍隊に理解を有する人々の多い事も頗る心强く感ずる所で、此の點に付ては將兵の誰れも非常な刺戟となりつつある事を其他的感謝をますます一層致して居ります

—×—

これは洵に乃國の爲め喜ばしい事で、其の一例は本島全住民が我國の經濟である愛國二十五、六號を獻納して軍の光榮を朝夕語り合つて居ることであります、[illegible]を數へると眞に國家をなふ心情の發現を見受けます時私共は更に新しい活力素を注射せらるる氣分にならざるを得ないのであります

—×—

飛行聯隊は御承知のやうに帝國南門の鎭めとして將に重大な任務がありますので昨夏以來我々の僚友が大命を帶じて或は滿洲に、或は上海に各其本分を盡して居りますのに參加し、華々しい活動の出來ない髀肉の嘆はないでもありませんが、同時に顧みて國民の深い後援の中に立つて比較的容し易い當地に駐む我々も益々精勵、研鑽を重ね、上 大元帥陛下の御爲め、下國民各位の爲め將兵一致協力一意專心武を練り、技を磨きつつ一同は「目を閉ぢて矢玉の響きよそにきき心靜に[illegible]」の心境で明日の戰爭準備に武德なきを期して居ります

—×—

去る故伊藤中尉や米永軍曹、森田軍曹の三名は聯隊を代表して此の島民の期待に酬い、又矢野曹長以下十數名は現方面に今活躍して居ります、國民聯盟がどうあらうと「正義の前に敵なし」孟子の「千萬人と雖も我行かん」の固い決心と亂れざる統制があらば世に於て恐るるものは無いと私は信ずる、滿洲國も第一次の基礎が固まり第一線に活動して居る我々はこれからは國民諸君と交代し銃を持つ私共が所謂銃後の人として平和的に活躍さるる國民各位を後援とする時代となるのではなからうかと考へられます

—×—

年を一つ重ねた 新鋭九二式

神武暦を中心に

飛行機のはなし

屏東飛行聯隊の新鋭九二式戰鬪機も年を一つ重ねた今年は紀元二千五百九十三年である

變た外來語を排除して日本語を用ゐ上とい聲が聞えるが、之は國民思想を振興する上に於て斷じて吹むべきではなからうが陸軍機の命名由來に促されるまでもなく日本には建國以來二千五百九十三年と云ふ立派な神武暦が厳として在る以上千九百三十三年なんていふ西暦を珍重がるには及ぶまい、宜しく國民擧つて神武暦を高唱すべきですナと言ふ記者の言葉に飛行聯隊の上條中佐、副官河村大尉は共に快然賛意を得たりとばかり其の通り、大に高唱して欲しい、では神武暦を中心に飛行機に就て二つ三つ話さうかと兩將校は左の如く語つた

〈陸軍機は從來は中島とかサルムソンとかドルニーであるとか外國語名や製作所名を付けたが、漸次飛行機の製作技術が進步し純國產で立派なものが出來るやうになつた、今年二つになつたと言ふ九二式は則ち神武暦二千五百九十二年に川崎で生れた日本での最新式の戰鬪機で其の前年の中島出來が九一式なのだ

〈其の以前の八七式戰鬪機も云ふ迄もなく二千五百八十七年生れと言ふ事で翌年生れたのが八八式、又舊愛國號の輕爆機は[illegible]れた、追つて偵察機は全部製に日章を輝かし神武暦に依つて命名されたものになる時期も遠くはあるまい、其れだけ飛行機に關する我國の技術も長足の進步を示しつつある

〈「日の出と飛行機、そして戰爭の關係」だつて？素敵な念所質問だナア、戰鬪の時には陽の光を背に負ふのが原則であるが、ものに依つて、例へば立體的な地上偵察には陽に向つて其の方から闖ればならぬ事もあるがマア稀れだ、陽光に向つたのではまばゆい斗りでなく影を殘す虞れもあるからである

〈空中戰では絕えず、敵機の上へ上へと云ふ事で陽を負うて上から攻撃だ、勿論これは彼我共にさうなので何れも其れを巧みにかはしつつ攻勢に〳〵と出るのである

〈陽の光りの話をしてゐるうちにと遙かざうだが眼を閉じて御記憶の滿洲の山野に活躍する僚友を想ふ時、雨も物かは、風も來れ、寒さにも[illegible]の機で隊員は寶機同樣な修練の商習を續けて居る譯だが、元來空中は非常に氣溫が低くて寒い、寒いと言はれる屏東地方の空中でも冬は冷える狀況や零下二、三十度と云ふ寒地は如ひ消られる

〈滿洲派遣隊の不時着が二、三あつた、岡陸出の故伊藤中尉も其の名譽の戰死者の一人だが、寒氣と天候構ひなしに而も長時間飛ぶのだから不時着をして幸い無事であつてもそれが人里遠く離れ、曠野なり山河なりでは寒氣の爲めにやられて仕舞ふ、落下傘も不時着も滿洲では餘り效果はない滿洲を想ふ時正月でも餘り陽氣に飲んでは戰友に申譯がない、一般國民としても同樣ではあるまいか

（寫眞は銳新九二式戰鬪機前の上條中佐と河村副官）

新春口占

青木目斗

椽近ぬくき日向の鍬始
◇
潮ふくれ來し[illegible]や鍬始
◇
嫁ケ君餅抱へて睡げなる
◇
嫁ケ君かるたの札をひきにけり
◇
[illegible]めや頭の上の雲の富士

屏東驛の 歩廊獨語

近き將來の市の玄關口

歐洲では政黨の政綱を口名プラットホームつて云ふさうだ、有難い代名詞があるもんだと感つたら當外れ、內閣を乘取つて仕舞ひ政綱など體くさらりと忘れて顧みない、丁度汽車に乘る迄は體裁も顧みる禮法がられるがいざ列車へ乘込んだとなりや萬人が萬人體裁の存在なんざてんで眼中にない、其れと言て困るからだとは怪しからん、これでも大きな存在なんである

◇

一口に屏東驛といふが[illegible]プラットホームの面積は四百八十坪ここを昭和六年十二月から同七年十一月末迄の一年間に乘り降りした客はナント八十萬四千三百三十七人、そればかりぢやない發着手小荷物六十七萬二千五百九十九斤、大荷物二十六萬二千三百八十九噸、お客の拂つた金が二十一萬三千四百六十圓二十九錢、貨物が三十萬九千四百五十八圓七十九錢、合計金四十二萬二千九百十九圓八錢也の驛長なら殺人出廿四、五萬圓かそこらの屏東街の世帶も小さく見えるよ

◇

所で僕の面を通過する人々を眺めると千差萬態だ、所知を拋らずイキナリ改札內を抜ける不都合者もある、さうかと思ふとガソリンカーの發車前などまるでマラソン競走だ、淺間しいやら情ないやら……淺間しいと言へば無賃乘車など厄介な代物もある

◇

我が屏東驛はだ現松田高雄驛長や伊東臺南驛長を送り出した全線での登龍門だ、現在の岩田驛長の[illegible]見送人に見せ度い位、なにも家庭の事だからホーム[illegible]が惜しい便所不潔清掃[illegible]な、のに暖炉の吹殼や煙草を南瓜もな投げ捨てられたんぢやあ、驛の手も柱拭くものもない、今に市になると手持をかんで其の事を[illegible]ひたいものだ

續錢月譜

(82)

志乃田迪司作　清水三重三畫

銅鑼騷動（二）

「へへ、ざまあ、みやがれ」

ぼん兄が、さう云つた。

「おい〳〵、門番との約束がある、靜かに通つてくれ」

友八がたしなめた。

「親分!」

ぼん兄が、顏色變へて云つた。

「こいつばかりは聞かれないよ」

「どうして?」

「へん、小熊は、わし等の云ふことを聞いたことがあるかい?」

「成程、これは理窟ぢや」

「さうぢやらう」

ぼん兄、聲が高い。

「御通夜ぢやつ」

突然、千一が叫んだ。

「何ぢやい?御通夜とは──」

ぼん兄が、千一に訊ねた。

「誰さ」

銅鑼を抱へた千一が、しよんぼりして。

「殺してくれ!」

「とは何ぢや?」

「これぢや」

千一、頬の、痣痕を指した。

「どうした、そりや?」

「女に叩かれた」

ぼん兄、呆れ顏に、千一の顏を見た。

「へつつ、意氣地のない野郎ぢやな」

「と云ふな、對手が惡い」

「誰だい?」

「親分旦那を取つて居る女ぢや」

「あの、すると、あの──」

ぼん兄、首を傾けて。

「あの、ええ子か?」

「馬鹿にも、ええ子などと云つてくれるな、腕が鳴る」

「やい〳〵、やい」

談話園の金七が。

「默つて聞いてりや、てめえ、惚氣か?」

「のろけ?」

千一、たうとう、べそを搔いた

「兄哥は何惚かねえ」

「どうしたい」

「俺ら、實を云ふと黑評にゐた時から、あの姐御に惚れてたんぢや」

「ふむ」

「そいつが、いつか親分旦那を取るやうな事になつてなあ」

「ふむ」

面白がつて、兄哥分組のものがぐるりと千一を取りまいた。

「昨夜、夜中に起きてみたら、火鉢の燒束を鏝つてるんだ」

「女が─か?」

「おおさ、てつきり、俺のを鏝つてくれると思つたよ、女ぢやもの例の、男良打ちの奴の頭をを呷いて、どうやらの大將は、野暮で[illegible]目だと諦めをつけてさ、すつかり俺の蒲團へ來たな、と喜んだ」

「成る程、さう考へるのは、あたりまへぢや」

金七が贊成した。

「ところが、俺は部屋へ入つて、そのつもりで口說くと──」

「どうした」

ぼん兄、意氣込んで。

「やつたかい」

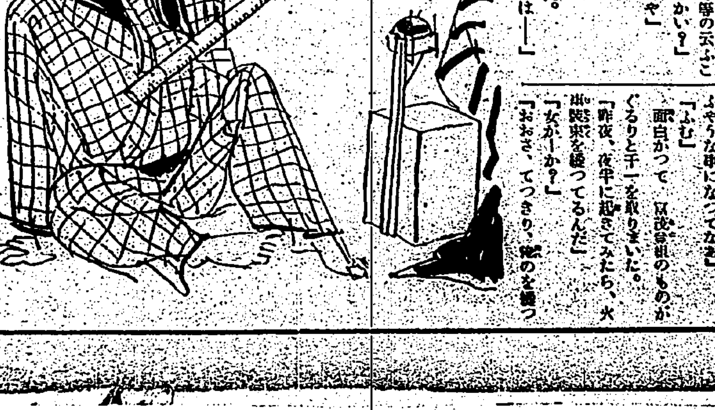
「やられた、ものさしで、ぴつしやり」

千一は頬を撫した。

「俺も男ぢや、もう諦める。で、今夜、俺の、あの女への恨ひの振めつけをするんぢや、みんな、御通夜してくれ!」

「おつと合點、ぢやが、どんな通夜ぢや?」

解せぬ顏で、ぼん兄が訊ねた。


やられた
ものさしで
ぴしやり

謹賀新年

山葉ピアノ オルガン 發賣元

日本樂器會社出張所

臺北市新起町

お蔭様にて

日増に皆様の財産が確實になると共に

益々皆様より信用を得つゝ有る

弊社の白蟻驅除

白蟻驅除研究所臺灣支部

臺北本町 **大脇爲德**

電話三五四九番

タイプライター

事務用器械器具

製圖測量氣象器

理化學醫療器械

洋帳活版諸印刷

和洋紙文具卸商

臺北市本町一丁目

分江里口商會

電話 三三五番 長八八八番

振替臺灣四一五番

電略（エヒ）又ハ（エリヒ）

印刷部 上奎府町三丁目

臺北市壽町五ノ五

臺北中央市場株式會社

電話 長七八三番 三一七三番

和洋雜貨

婦人小間物

半衿

化粧品

商

臺北市榮町二丁目

小島屋

店主 小島伊三男

電話三四六番

振替臺灣一四七番

▼▼▼▼▼▼……臺北市表町……▼▼▼▼▼▼

台北カフェー美人座

中食には美人座獨特の五十錢ランチをお薦め致します

臺北市本町二丁目十一、十二番地

株式會社 **資生堂藥舖**

電話 長一七五番 一一七五番 三七二番

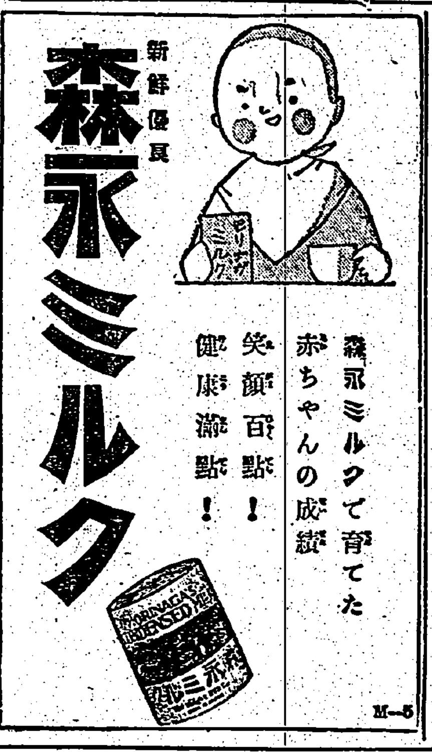
振替口座 臺灣 三〇五番

受信略號 タイホククスリ

發信略號 （シ）又ハ（〇シ）

追白

昨年中は不行屆勝ちで申譯けありませんでした事に御詫申上げます改年と共に營業部員一同努力以て御感情を惡しくしない決心で御座いますから倍にする御引立を願ひ上げます



新鮮優良

森永ミルク

森永ミルクで育てた赤ちゃんの成績

笑顔百點！

健康滿點！

M—5

モリナガミルク
MORINAGA'S CONDENSED MILK
森永ミルク

本社 臺灣臺北市濱町三丁目二番地

臺灣製腦株式會社

電話 長一八九七番 長一八九八番

振替（臺灣）二〇二〇番

御正月用には

宮内省御用

櫻正宗

防腐劑絶無

明けまして

御目出度う御座います

歡樂と清楚な

カフェー永樂

臺北市西門町

電話三〇〇九番

臺北

ライオン

電話 八二四 二一七五番

お正月中は御年玉進呈

カフェー吉乃

西門町芳の館角

電話二六八八番

高尚 清楚

臺北市榮町

カフェー南國

總督府前

電話一六九八番

臺北市新起町三丁目

カクリヨバー

電話 七一七 二五六五番

山下汽船株式會社

臺灣支店 基隆市日新町三ノ三

電話 六五〇番 六五一番

高雄出張所 高雄市堀江町三ノ三七

電話 二五二五番 二五二六番

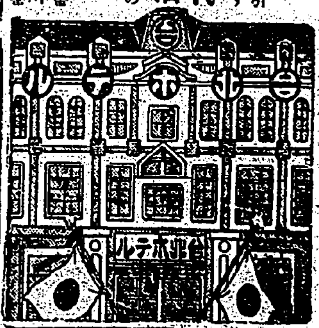
賀正

本年も相變らず御引立を御願ひ申します

現代的茶代廢止と宿泊食堂部區分の

臺北ホテル 臺北市本町二丁目 電話五七二番

同自動車部 電話七五一番



臺北驛前通り

カフェー **ボタン**

電話一六一三番

臺北兒玉町

カフェー桃太郎

電話三四六〇番

御料理 **翠竹**

電話三二七五番

大和町二ノ八 電話三一五番

御料理 **鳥松**

鳥松分店明鏡堂 臺北市大和町二ノ七九 電話五三一番

笑屋 電話二五二九番

壽旅館 電話二五五六番

割烹 **梅本**

臺北 電話五五三番

割烹 **梅の家**

電話八七八

臺北市西門町三ノ一九

御料理 **萬喜樂**

電話六三六番

臺北西門町二ノ四

割烹 **松竹**

電話一〇七三番

臺北 **南料理屋組合**

電話一二六四番

割烹 酒場 **新喜樂**

モンパリ

電話四一番

臺北市大和町

割烹 **竹の家**

電話一三三番 三六八四番

高級貸自動車並ニ販賣

巴自動車商會

電話三一八四番 三三五五番

西洋御料理 金鍔電氣鍋燒

カフェートモヱ

電話二七〇八番 二二九八番

草山温泉

御旅館 **巴旅館**

電話六番 七番

東京

太平生命

社長 根津嘉一郎

屹度御希望に適ふ新保險

每年配當付

短期拂込養老

確定有給外務職員

多數採用

履歴書至急御送付を乞ふ

息づまる接戰のうちに CB軍の雪辱美事成る

東都の覇者法政再び敗戰

三日の朝を迎へた圓山球場は薄陽さへ受け時折交つた霧のやうな雨も晴れ青天を仰いで絶好の野球日和だ、正午法政軍は藤田監督を先頭に球場に入場すれば先着のCB軍は既に自由打撃に必勝の氣を吐いてゐる、軈て法政軍の猛打者連も對鐵戰の不覺を見事雪ぐ意氣を漲らせてバットに快音を聽かせる兩軍の自由打撃も鮮かに終つた午後一時二十二分チーフアムパイア飯島氏のプレボールが宣せられた、壘審は藤田、石井、大澤の三氏、斯くて法政對CB野球第二回戰の火蓋はスタンドに溢れる大觀衆のエキサイトせる空氣に包まれてCB先攻に切られたが七對四CBの雪辱成り對鐵第一回戰に敗れた法政軍は再び茲に敗戰の憂目を見るに至つた、時に午後三時二十一分

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九
CB	3	0	1	0	0	0	0	1	2
H	0	0	3	1	0	0	0	0	0

勝敗を決した CBの迫力なる打撃

初陣の鵜澤の好投も遂に及ばず

◇…きのふのネット裏から

◇…此の日法政のチーム編成は遊擊の中村が右の指先を傷めてゐるので三壘の渡邊を遊擊に廻し内海を三壘に置き一壘原口に代つて矢野を用ゐ投手には初陣の新人鈴木（勝也）を用ゐたが鈴木はまだ若く制球力なく第一回二死後黒田の遊匍を遊擊一壘へ稍低投せるを矢野失して黒田壘に生きるや、田中に遊擊右を、吉田に三遊間を抜かれ山田には右翼三壘打を見舞はれて三點を奪はれてしまつた、第三回田中、吉田に又も安打され一點を奪はれるに及んで鵜澤と交代したが此の四點が新人鈴木には相當の痛手となつた

◇…初陣の左投手鵜澤はよく投げてオーバースローのシュートボールはコーナーを衝いてCBの三、四、五番打者を凡打に終らせ好投を續けたが第八回一死にして山田を一壘走者に置く時油井の放つた中堅前のライナーを武田が無理をし過て前進又前進しに及ばず之を後逸して三壘打とし一點を喪してしまつたことはCBの勝利を決定的とせるもので、あの場合飛打で食止めて次打者の河内を打取るべきであつた、河内は二回、四回六回と三度打つて三度三振してゐるのだから鵜澤のことで此の武田の無謀に失するプレーは一考を要するものと思はれる

◇…第九回一死にして石川を壘に置く時神の打つた中堅飛球を目測を誤つたらしく頭上を抜かれ之を三壘打としたのも名手武田に似合はないことで名手武田には昨日の惑があつた、昨ふの試合に渡邊の四球の失策もタイムリーでなかつたが内野陣を不安に思はせてゐた。打力では遥に武田、田子邊りは光つてゐるが熊城を別として新人は未だ迫力に乏しい感がした

◇…CBは久し振りに山田を投手板に送つて油井を三壘に置き石川を右翼に配した編成で打順にはさして變化を見せず臨んだが山田のアウトコーナーを衝くシュートボールは法政の打力を食止めたが三四の兩回に於ては熱球力を失して一時危ふまれ破綻を思はせたが第五回矢野、内海、鵜澤が初球を狙ひ因ねて凡打三振するに及んで其後調子を回復し勝利投手となつたCBの内外野共破れを見せず能く守つてゐた。

◇…打力に於ても四、五番邊りがいい當りを見せ第九回神を三壘に走者に置いて黒田が試みたスクイズは遊擊のセーフティ・バントとなるなど凄い所を見せた。法政が鋼、伊藤の投手陣、原口、成田の打力を充分に使つて臨ふ日こそその快戰を想はせるものがある。

試合經過

第一回（CB）的川二匍、沖三振、黒田遊匍一失に生き田中投手右を抜く安打、吉田三遊間安打で二死滿壘となれば山田第一球を右翼手越に三壘打して走者を一掃、油井投匍に終つたが劈頭早くも三點を先取す（法政）武田中飛、渡邊捕前飛、田子遊撃内野安打に出て二盗に成功したが成田捕邪飛（CB三點）

第二回（CB）河内三振、石川右中間に大飛球を揚ぐれば成田烈狡に力走又力走見事逆シングルに之を掴んで二死的川遊匍失に生きて二盗したが沖捕邪飛に終る（法政）矢野捕邪飛、内海中飛、鈴木遊匍失、食四球に二死二走者を出したが稻田遊匍（兩軍零）

第三回（CB）黒田左飛、田中一壘手足下を抜く安打に出で、吉田の二壘手左を抜く安打で田中三進、吉田直ちに二盗して一死走者三二壘に擴る時山田二匍田中生還、吉田三進、油井一匍に止んだが一點を加へて計四點となる（法政）武田遊擊をライナーで强襲する安打、渡邊四球で二走者を出せば田子投手前にバントして走者を進め成田の遊匍で武田本壘を衝いたが惜しくも刺され、渡邊三進、成田二盗、矢野の中堅飛に立つて時々とする痛打は中堅手球を持ちすぎて本壘打となり渡邊、成田、矢野の三者生還、鈴木に代るピンチヒッター森谷三振して終つたが三點を返して差を一點に縮む

第四回（CB）（法政投手鈴木退き鵜澤投手となる）河内三振、石川捕邪飛、的川四球に出たが沖二飛（法政）食投手足下を抜く安打に出で稻田、三ストライク目をバントして捕飛に退き、武田左前にクリーン・ヒットして續き渡邊の三匍で食三壘に封殺されたが田子遊擊に内野安打して武田二壘から生還、渡邊二進したが成田二飛一點を加へて同點となる（法政一點）

第五回（CB）四對四の同點で試合は後半戰に入り（CB）黒田中飛、田中三匍、吉田遊匍失に生きたが山田三振（法政）矢野三邪、内海三振、鵜澤三振

第六回（CB）（内海退き渡邊三壘、中村遊擊、成田退き熊城右翼となる）油井三匍失に出でたが河内三振、石川二匍して稻田—中村—矢野の轉送で油井を併殺する（法政）食左前安打、稻田の捕前バントで封殺され、武田の三匍は稻田を二壘に封殺し武田二盗成つたが渡邊遊匍

第七回（CB）的川遊匍、沖中飛、黒田三飛（法政）田子三飛、熊城三壘左を抜く安打に出て二盗、矢野捕邪飛後熊城三盗、中村投手を强襲したが惜しくも死す（兩軍零）

第八回（CB）田中遊匍、吉田三匍不規則バウンドの安打に出たが山田の遊匍小飛球で二壘に封殺され、油井中堅前にライナー性のフライを早すれば武田前進したが球は手の下をくぐり三壘打となつて山田一壘から生還、河内右飛に終つたが一點をリードす（法政）鵜澤三振、食二直、稻田二飛

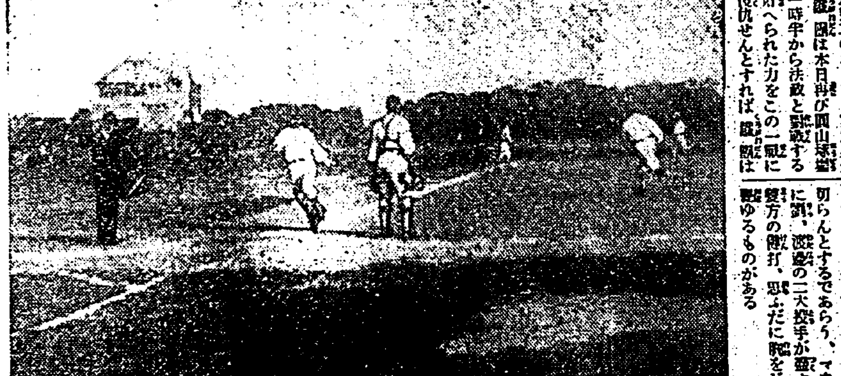
第九回（CB）石川遊匍一失に生き的川の一壘側バントに送られ神の一打中堅大飛球となるを武田目測を誤つてオーバーされ三壘打となして石川生還、黒田のスクイズバントは遊擊、内野安打となつて神生還、黒田二盗、田中中飛後吉田三匍失に生きて黒田三進したが山田一匍しかし二點を加へて七對四と引離す（法政）最後の攻撃に武田左中間安打に出で渡邊に代るP.H伊藤左飛、田子遊匍で二死、武田二三壘間にはさまれたが結局兩者壘に生き矢野遊匍、野手そのまま二壘に入つて封殺してゲームセット

	C B（先）	失	殘	四	三	盗	犧	安	得	打
8	的川	0	2	1	0	1	1	0	0	3
4	沖	0	0	0	1	0	0	1	1	5
6	黒田	1	1	0	0	1	0	1	1	5
2	田中	0	0	0	0	0	0	2	2	5
7	吉田	0	3	0	0	1	0	3	1	5
1	山田	0	1	0	1	0	0	1	1	5
5	油井	0	1	0	0	0	0	1	0	4
3	河内	0	0	0	3	0	0	0	0	4
9	石川	0	0	0	0	0	0	0	1	4
		1	8	1	5	3	1	9	7	40

	法政	失	殘	四	三	盗	犧	安	得	打
8	武田	0	2	0	0	2	0	3	1	5
56	渡邊	4	1	1	0	0	0	0	1	3
PH	伊藤	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7	田子	2	0	0	0	1	1	2	0	4
9	成田	0	0	0	0	1	0	0	1	3
9	熊城	0	1	0	0	2	0	1	0	2
3	矢野	0	1	0	0	0	0	1	1	5
5	内海	0	1	1	1	1	0	0	0	2
6	中村	0	0	0	0	0	0	0	0	1
1	鈴木	0	1	0	0	0	0	0	0	1
PH	森谷	0	0	0	1	0	0	0	0	1
1	鵜澤	0	0	0	2	0	0	0	0	2
2	食	0	1	1	0	0	0	2	0	3
4	稻田	0	0	0	0	0	0	0	0	4
		6	10	3	4	7	1	9	4	37

終了　三時二十一分　試合時間　一時間五十八分

本壘打　矢野　三壘打　山田、油井、神
併殺　稻田—中村—矢野



八回目山田CBの生還

法政雪辱成るか？ 鐵再勝するか？

滿都ファンの人氣を集めて 法政、鐵けふ再び對戰

東都六大學の雄法政を向ふに廻して七A對二のスコアーで堂々先勝した鐵團は本日再び圓山球場で午後一時半から法政と對戰する法政が貯へられた力をこの一戰に傾けて復仇せんとすれば鐵團は[illegible]、渡邊の老巧投手がバックの覇氣と相俟つて一氣に法政を押し切らんとするであらう、マウンドに鋼、渡邊の二大投手が盡す技倆、雙方の猛打、思ふだに胸をどるを覺ゆるものがある

法政の雪辱か？　鐵團の再勝か？　今日圓山球場に開かるゝ一戰をこそすべてのファンは期待してゐる

新竹の本社 開運福引

【新竹電話】新竹取次店における本年の開運福引は二日午前十時から販賣店立會の下に行はれたが主なる當籤者左の如し

特等　東門外　東華館
一等　東門外　高松商會
二等　南門　林基鍋
同　枕頭山脚　川上昇
三等　南門　張闊興
同　北門　蘇謙吉氏
同　製冰會社　松下氏

淡水の本社 開運福引

【淡水電話】本紙愛讀者開運福引は二日午前十時から淡水街本社取次店で開き、定刻前より詰かけた愛讀者の波にもまれながら福引は進められ左の諸氏福運を摑き當て午後三時盛況裡に終了した

一等林瓜氏、二等カフエ銀波
二等洪成敷氏、三等板羽トモ氏
三等岩永夫人、三等岡本實太氏

十九ヶ國委員會 十六日より再開さる

我政府が重視する三つの點

【東京三日發電通】一月十六日より再開の十九國委員會に於て採否を決定せらるべき決議草案に關する我代表部及び聯盟側の修正交渉は三日頃から弗々ゼネバにて佐藤、ドラモンド、杉村氏等の間に開始されることになつてゐるが右に關する帝國政府の最後的態度は

一、總會決議案に依つて新設さるべき委員會の任務を日支問題の解決を計るため委員會自ら交渉するにありとするは日支問題は兩國の直接交渉に依つてのみ解決さるべく第三國の介入を拒絶すとの帝國の原則に抵觸し斷じて許容し得ず

一、總會決議案にてリットン報告書九章の諸原則と十章の提案を滿洲問題和協の指針として採擇せんことを決議するは滿洲の獨立及び帝國の正式承認と背ふ既成事實に抵觸する、然し右諸原則及び提案の指示する所は滿洲自治制案にて帝國は斯かる提案の全般的且つ無條件採擇に絶對反對す

一、新設委員會に米露を招請することは規約に基く聯盟の行動に對し何等の責任を負はざる非聯盟國たる兩國に參加發言の權利のみを與へんとするものにして法理上疑義あり帝國は主義上賛成し得ず

との三點を最重大視し右三つが帝國の要求に從ひ重大修正を加へられ、之に基き理由書案が削除せらるに於ては九國條約の引用其他の修正點は敢て追究せずとの意向である、然し右三點は聯盟側としても容易に讓歩し得ざる重要點と認められるので之に關する彼我修正交渉の前途も樂觀を許さず十六日の十九國委員會再開までに滿足な解決に到達し得るや否や疑はれてゐる

北滿匪賊の根絶近し

學良の煽動で頻りに踊る

【東京二日發電通】東鐵東部線の反滿分子討伐の姫路部隊は元旦を期し敢然切り出されたが叛軍首腦丁超は滿洲國軍政方面の要人たる吉林警備司令吉興、吉林省長熙洽、吉林警備副司令官丁超、軍政部次長王靜修等と共に日本士官學校第二十二期生であり彼のみ學良の煽動に眩惑最後まで滿洲國に反抗し一萬の部下を二千に減じ遂に奧地に追はれ今は李杜と共に密山にある模様、學良時代の親友たる飛士官は丁超の近親を通じ最後の飜意を勸告したがこれも水泡に歸した斯くて我が討伐に依り彼等の運命は旦夕に迫り東鐵東部線開通と北滿匪賊根絶は目睫に迫つた

姫路部隊、敵匪と激戰

死者四、負傷百二十を出す

（奉天二日發電通）當地への情報に據ると姫路部隊は一日夜二日朝に掛け大部隊の敵匪と衝突交戰し戰死軍曹以下四、負傷百二十名を出した

蘇の正規兵と衝突

遠藤○隊が潰走せしむ

【奉天三日發電通】碾子山西南方李三店附近に蘇炳文の正規兵集結し居るを探知した關東軍警備の遠藤○隊は一日早曉同地に向ふ途中午前六時半頃王龍江附近で機關銃を有する正規兵千三百と衝突激戰これを北方に潰走せしめた、我が損害戰死四、負傷二十五名、騎兵の田中○隊も敵の退路を絶つべく出動した

匪賊討伐の聲明

關東軍司令部から

【新京二日發電通】東支鐵道東部線方面の匪賊討伐開始に付き關東軍司令部當局は聲明の形式で左の如く聲明した

滿洲國の治安は爾來回復し平和の曙光愈々明かとなりつゝあるに拘はらず李杜、丁超、王德林等の匪賊は依然治安を攪亂し國際交通路たる東支鐵東部線の要地に蟠居しその通路を閉塞せることは啻に滿洲國の爲めのみならず、國際上の立場よりしても許し難き所なるを以て日滿兩當局に於いては今日まで忍びに忍び彼等の反省を待つたのであるがその後彼等の態度は愈々反抗的となり治安擾亂の事實顯著となり最早この儘放任し難き狀態に立至つたので斷乎これを膺懲することとなつた次第である

山川瑞三氏逝く

【東京二日發電通】前國民新聞副社長山川瑞三氏は四年前より中風で臥床中の所一日午後六時半大森區田園調布二の八三六の自邸で逝去した、享年六十六歲

黃、柳組と 張とが優勝

體協主催全島軟式 庭球選手權大會終る

【臺南電話】體協主催第九回全島軟式庭球選手權大會は二三の兩日臺南小學校内コートに於て開催され三日正午終了した成績左の如し

▲シングル
一等　張如軒（臺北）
二等　熊野御堂公爾（臺南）
三等　陳金木（員林）
三等　陳炳煌（臺中）

▲ダブルス
一等　黃金鐘　柳金木（員林）
二等　張如軒　石田（臺北）
三等　辛瑞　耳井臣（臺北）

第一日目には 北一中と嘉農勝つ

臺中で開催の全島中等學校選拔野球

【臺中電話】全島中等學校選拔野球大會は既報の如く臺中市水源地球場に於て三日から五日まで三日間開催されるが第一次戰は三日午前十時選手入場式、國旗掲揚など形の如く行はれ竹下知事の始球に依つて午前十時五十分開始された

中商先攻

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
北一中	5	2	0	0	0	0	2	0	A	
臺中商	1	0	0	0	0	0	4	1	0	
										6—9A

右の如く北一中勝利し、北工對嘉農戰は工業先攻にて午後一時五十分開始されたが第五回までは雙方得點なく六回嘉農一擧四點を入れて大勢を決し六A對零で工業零敗を喫し午後三時四十分終了した

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
嘉農	0	0	0	0	0	4	1	1	A	
北工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
										0—6A

なほ第二次戰は四日午前十時より[illegible]行はれる

宮中元始祭の御儀

聖上新春初の御親祭

天皇陛下が新春初の御親祭遊ばさる元始祭の儀は、嚴氣こむる三日大内山の神域、賢所、皇靈殿、神殿の三殿にて擧げさせられ、掌典長の手で御祓行はせられ九時掌典長の祝詞奏上終つて同九時、秩父宮、高松宮

各皇族　殿下をはじめ奉り、齋藤首相以下各國務大臣以下勅任官以上著席されば、天皇陛下には黃櫨染御袍に御笏を正され林式部長官、一木宮相の御先導、鈴木侍從長以下御配者供奉にて綾綺殿を出御御賢所御拜の座に御着、御玉串を奉ぜられ、玉音いとも嚴かに御祭文を奏せられた上、御拜遊ばされ、皇靈殿、神殿に及はせ給ひて御首初めての御親祭を終らせられ同十一時入御

御參列の各皇族殿下御拜礼の事もあつて嚴かなる御祭典は御滯りなく終了した、なほこの日正午より一時まで神佛各宗派管長、伯子男、一時より二時までは勅任官、同待遇官に夫々三殿の參拜を差し許された

臺灣神社の元始祭

臺灣神社における元始祭は三日午前八時から本殿大前にて執り行はせられた參列者は中川總督、阿部軍司令官、總督府部局長、後藤高等法院長、小濱、堀田、石井、安武各局長、中瀨知事、谷本、切田、郡武各學校長、西澤市尹、宇賀、小松、小宮、古賀、矢野諸氏など官民百八十餘名で同八時五十分終了した

建功神社の元始祭

建功神社の元始祭は三日午前八時から執行、遺族三十餘名の外參列者百餘名あり同八時四十分終了したが平塚長官、安武文教局長その他主なる官民五十餘名參拜終了後續々參拜した

高砂麥酒の整理

拂込濟資本金を十五萬圓に 減資し更に百三十五萬圓增資

高砂麥酒會社は釀造技師長武仁原浔俊氏勇退し新にキリン麥酒の技師小高治一氏が工場長として入社することに決定したが、之を機會に減資の上增資を行ひ陣容を一新して更始一新、内容の充實を計ることとなり次の整理案を發表した

資本金一百萬圓（拂込額五十萬圓）二萬株を十五萬圓（全額拂込濟）三千株に減少す、此の方法は一株額面五十圓、拂込額二十五圓株、二十株を併合し額面五十圓全額拂込濟三株とす、而して新に資本金一百三十五萬圓（全額拂込濟）を增加し之に對し株式二萬七千株を發行す即ち資本總額一百五十萬圓、此の株數三萬株となる、資本增加に對する株式中一萬四千株（一株五十圓全額拂込濟）を公募し他の一萬三千株は各債權者に對する債務の償還に充當するものとす

尚右減資の上は債權者に巨額の債權拋棄を懇請することになつてゐる、即ち債務二百八十七萬八千八百六十三圓三十六錢（支拂手形）中百四十二萬八千三百六十九圓六十七錢を打切つて殘り右增資資金百三十五萬の内七十萬圓を債權者へ現金で交付し殘額六十五萬圓は會社株式を以て交附し手形債務の一掃を計ることになるのである、假受資及假拂項目は

假受資
一、三十五萬圓　資本金減額
一、百四十二萬八千三百六十九圓六十七錢　債務打切額
一、六千百五十四圓四十五錢　前期利益金
合計百七十八萬四千五百二十三圓八十二錢

假拂項目
一、百六萬八千八百八十九圓四十六錢　建物機械器具什器其他
一、二十四萬五百七十八圓十七錢　高砂麥酒醸造權利金
一、五十一萬五千五十六圓十九錢　前期迄麥酒代及販賣擴張費
合計百七十八萬四千五百二十三圓八十二錢

右減資及增資案並に之に伴ふ定款變更の件を附議する爲め二十日市内上奎府町同社事務所に於て第十八回定時株主總會午前十時に引續き臨時株主總會を開催することになつてゐる

内田元總督 絕望に陷る

【東京三日發電通】元臺灣總督内田嘉吉氏は風邪の病勢昂進を推して貴族院に出席し居りし所、十八日より肺炎を併發し二日夜六時危篤となり全く絕望となる

内田氏略歷　絕望に陷つた内田嘉吉氏は六代目の臺灣總督であつた、臺灣には民政長官として總督として二度の務めをしてゐる、氏は東京府人で内田正八氏の長男、慶應二年生れ、明治二十四年東大法科卒業、主なる官歷は司法官試補、同書記官、同參事官、遞信省參事官、管船局長、拓殖局長、拓殖事務局長、遞信次官、臺灣民政長官、總督などで大正七年貴族院議員に勅選された、現在は日本無線社長、明糖監査役、臺灣資料協會、東京海員掖濟會名譽會長で臺灣俱樂部會長として臺灣關係方面に盡瘁してゐることは周知の如くである

臺北消防の けふ出初式

新公園で

臺北の消防出初式は四日午前七時から新公園に於て擧行さるべく午前六時四十分組員整列、國旗掲揚、喞筒操法及梯子乘、消火演習、消防組に勳績組員表彰等ある筈

内臺航路 新春初入港

扶桑丸が齎した話

【大阪商船】本年に入つての内臺航路第一船扶桑丸は三日午後一時豫定通り入港した、港内は小雨交りの風冷く行交ふ船の影も少い淋しさであつた、船客も流石に百五十五名の少なさであるが一等船客に松方正熊帝糖社長、植、安達滿洲國[illegible]、津下日石重役、大連市長小川順之助、同市會議長宮脇の諸氏に内地遠征中の臺北「ホラダビー」選手らを數へてゐる

松方氏語る

松方正熊氏は語る　北海道のビートは大變に成績がよい、今期の見込高は二十一萬五千でこれからの事として生産費を引下げて實質的な成績をあげねばならぬと思つてゐる、臺灣の分蜜糖も時節柄可成の成績だこれとても今後の問題はただ生産費低下のみであると思ふ

小川大連市長の談

小川大連市長、宮脇同市會議長は語る　本年の七月廿三日から八月末迄大連市において市主催の滿洲大博覽會を開催し内地各地の商品紹介、滿洲國における各種の施設其他産業品等の紹介をも大規模にやる計畫で出品方お願ひのためやつて來た、滿洲國に入つてくる貴重物資稍相當に臺灣丸は可成の成績でこれからずんずん增加してゆく事と思つてゐる

自治精神研究會

【屏東電話】屏東郡當局では一月六日より十二日まで各部落で順次自治精神研究會を開く

特別廣告

第參拾回決算報告
自昭和七年五月一日
至同年十月三十一日

貸借對照表

資產ノ部
未拂込株金 [illegible]
[illegible]
有價證券 [illegible]
[illegible]
合計 [illegible]

負債ノ部
株金 [illegible]
法定積立金 [illegible]
保險積立金 [illegible]
恩給基金 [illegible]
研究資金 [illegible]
預り金 [illegible]
未拂配當金 [illegible]
未決算 [illegible]
仕拂手形 [illegible]
三井鑛山株式會社 [illegible]
臺灣銀行 [illegible]
前期繰越金 [illegible]
當期利益金 [illegible]
合計 [illegible]

右ノ通リ
昭和八年一月
基隆炭鑛株式會社

會葬御禮
喪主 長男 緒方江
緒方モト
親族總代 緒方光平
友人總代 渡邊房吉
同 中園彰

老母この儀豫て病氣療養中ノ處養生不相叶本日午前九時十分永眠致候間此段謹告仕候也
追而葬儀ハ[illegible]
一月三日
男 濵田七五三太郎
親族一同
友人 阿月峯藏
瀬川柳平
福元休太郎

待望久しき松竹映畫の最高峰
林長二郎川崎弘子主演
不如歸
市川右太衛門主演 大江美智子谷崎十郎助演
武藤太平
2番　世界館

漢文 臺灣日日新報

憲兵分遣所受兩爆彈
我軍急派隊保護僑民
由是空陸協同續行作戰

二日天津電。據駐屯軍發表。一日午後九時二十分。憲兵分遣所。有投擲二個爆彈。一個炸裂。同時分遣所長官舍。亦有發小銃者。破壞窓戶玻璃。次停車場橫濱路之鐵道監視所及滿洲國國境監視隊附近。亦有投下數個爆彈。無大損害。然鑑于危險狀態。我守備隊長。將一小部隊急派于南關（南門外市街爲邦人居住區域）。保護僑民。與憲兵隊協力逮捕犯人。並調查實情。一面因旅長何柱國赴北平不在。乃與劉參謀長並公安局長折衝。就南關華軍防備撤廢其他協定。務于平和裡處理。守備隊收容僑民。基此協定。于二日午前十時餘。我守備隊至南關時。中國兵背約。突如以手榴彈及小銃。向我敵對。遂至開始戰鬪。我守備隊擊退中國兵。占領南門對峙。爲該戰鬪。札幌步兵第二十七聯隊兒玉中尉。於登城壁時。悲壯戰死。兵二名負傷。二日午後五時十分。駐屯滿洲國內之部隊。○團一部隊。自綏中方面出動。午後三時十分。關東軍所屬飛行機○臺。對飛來山海關偵察。中國兵一齊射擊。爲自衞上不得已爆擊。次開始陸軍行動。至是開本格的戰鬪。空軍協同作戰。現猶行交戰中。

此次山海關發生事件
觀熱河情勢早料及此
我軍或出自衞的軍事行動

三日東京電。山海關事件。陸軍當局談左。陸軍省尙未接關東軍公報。此回問題。觀最近熱河方面情勢。爲當然之問題。即滿洲國獨立以來。對熱河日本帝國方針。代表湯玉麟自身。有立會滿洲國建國式關係。熱河當然爲滿洲國。而行建國精神之王道德政。最近湯玉麟因學良之使嗾。而出反滿態度。且前項第三次中央全體會議。並于聯盟。聲明明瞭抗日態度。學良亦令以十萬義勇軍斷行。而傳正規軍數旅熱河移駐說。形勢尖銳化。遂與何柱國軍衝突。然我軍之根本方針。必以和平的解決。一以中國軍之行動如何。勢不得不出以自衞的軍事行動。其責一在中國一邊。

天津中國街
臨時戒嚴

二日天津電。天津中國一邊。對山海關事件。極度興奮狼狽。自夕刻中國街一律布臨時戒嚴令。幾同戰時狀態。我駐屯軍。全員緊張。以備萬一。期勿遺漏。

山海關戰況
依然抵抗

三日天津至急報。據至三日午前五時報告。山海關戰況。依然頑強抵抗。我軍士氣極旺盛。以寡兵使敵大損害。

內田嘉吉氏
陷于絕望

三日東京電。元臺灣總督內田嘉吉氏。于風邪病勢更進時。強行出席貴族院。自二十八日肺炎併發。至二日夜六時危篤。陷于絕望。

各地方
名刺交換會

▲羅東街　各官公衙及小公學校。去一日午前九時。齊舉賀年式。同九時半。煙火二發爲號。同十時在公會堂。開名刺交換會。定刻總若助役致開會辭。齊唱國歌。陳街長述祝辭。次開宴。梅谷郡守舉杯。三唱天皇陛下萬歲。一同和之。乃閉式。是日出席者有三百五十餘名云。

▲瑞芳庄役場　去一日午前八時半。集職員于會議室舉行新年拜賀式。又名刺交換會。午前十一時。集于役場。定刻。致開會辭。並歌國歌。宮川庄長述祝。開宴。正午一同舉盃。三唱萬歲。於盛況裡散會。

▲淡水　去元旦午前十時。假公會堂舉官民交禮會。參會者三百餘名。定刻多田街長述祝。田中郡守舉盃。三唱兩陛下萬歲。於盛況裡散會。

▲由文山郡　新店庄長。主開官民合同交禮會。元旦午前九時三十分。開於新店公會堂。定刻會衆齊集。村田庄長。述開會詞。並奏頌年辭。與會者百三十名。一同開宴。終有吉田郡守。舉杯三唱皇室萬歲。十一時散會。

▲新營庄主開新年名刺交禮會。去一日午前十時半。集于公學校。平川庄長述祝。次開宴。樂滿郡守發聲三唱萬歲。正午閉式。是日參會者有三百餘名云。

聯盟委員會採否決議草案
帝國政府最後的態度
彼我修正交涉前途未可樂觀

三日東京電。一月十六日再開之十九國委員會。其將決定採否之決議草案。我代表部及聯盟一邊修正交涉。由佐藤尙武、杉村氏等之間。三日開于壽府。因此帝國政府之最後的態度。

一、依總會決議案。將新設委員會任務。爲解決日滿問題。委員會自行交涉者以日滿問題。只由兩國直接交涉而解決。對拒絕第三國介入之帝國原則有牴觸。斷不得許容。

一、總會決議案。依致報告書九章諸原則與十章提案。以爲滿洲問題和協之指針。欲決議採擇者。乃牴觸滿洲獨立及帝國正式承認之既成事實。蓋右諸原則及提案所指示。于滿洲自治領案。帝國以該提案全般的且無條件採擇。絕對反對。

一、新名委員會。招請美俄。悲于規約。對聯盟行動。以不負何等責任之非聯盟國之兩國。與以參加發言之權利。于法理上有疑義。帝國于主義上不能贊成此三點視最重大。爲右三點。若從帝國要求。重大修正。而基此理由末項削除則九國條約之延用。其他修正點。擬不追究。然右三點。在聯盟一邊亦認爲不容易讓步之重要點。故關此彼我之修正交涉前途。尙不許樂觀。至十六日十九國委員會再開。其得達滿足解決與否。殊爲疑問。

臺灣農村指南（三）

五年禁酒餘慶　且徧及於全國

石川縣河合谷村。村民協議五年禁酒。以示自力更生之模範。目下各府縣市町村役場。暨學校。青年團。社會事業團體。不時照會詢問其內容。一面日本國民禁酒同盟。將其村禁酒顚末。著成爲書。已至十三版。發賣十三萬部。購者猶絡有人。又該禁酒同盟。是後繼製期以徧揭於全國各小學校。公會堂。齋藤首相。所贈該村禁酒興國區額。亦已印成。務以實費廣頒國中。一枚五十錢云。

宴會限兩時久　晚酌亦約禁止

德島縣社會課。當求各町村報告其實施計畫。以爲國民更生運動之參考資料。略舉一二例。如海部郡中木頭村。絕對禁用麥酒。三資水。蜜柑水。且約宴會只限二時久。晚酌中止。違者不問理由如何。揭其姓名。揭於各揭市場。防人失信。既自去九月二十五日。施行至今。又如板野郡柴村。於國民更生實際運動要項之後。示以男女青年十訓。其於男子。有精神毋惰弱。毋溺於女色煙酒之訓。其於女子。亦有閨女切禁夜遊。暇時按摩其親腰背。掃除必潔之訓。以爲少者更生運動之目標云。

小學校澤庵漬　堂々販賣阪神

德島縣名西郡藍畑小學校。久以農業實習。爲縣下之模範。其實習地一町。而種大根七段餘。該地以產阿波澤庵覺月潰名。該校自客冬十一月末。亦擬製造販賣。放課後。校長以下職員兒童。全校從事。借附近村營市場。爲加工場。洋裝女教員。亦喜操作。共以農村更生在生產。在加工販賣。其意氣何其盛。品既成。售之阪神市場。三百樽。經費四百五十圓。其從業員。只學校師生云。

茶花葉作食料　頗銷於京阪神

奈良縣茶業分場。去年試取茶之白花。漬爲梅酢。更製爲醃漬物。試食於京阪神名族亭。月旦皆佳。是後訂購者衆。又製兩種茶花漬物。宣傳發賣。不論遠方。均得送到云。

改善品種系統　設果樹試驗地

愛知縣園藝。年產千五百萬圓。稱爲全國之魁。其中尾張地方蔬菜。以千二三百萬圓計。而移出縣外。年有三百五十萬圓以上。唯果樹年不滿二百萬圓。尙自縣外。移出四百萬圓以上。縣當局。因擬自新年度。撥一萬五千圓。於知多郡內。新設果樹專門試驗地。務使果實與蔬菜同多產額。且於桑園整理跡地。不良土壤。山林原野傾斜所在。用其合縣風土方法。指導當業。模範栽培。又先於寶飯郡蒲郡町。設母木園。廣一町五段。集全國之優者。改良品種。改善系統云。

煙草栽後耕地　種豌豆極有利

兵庫縣加東郡上東條村農會。客冬利用煙草耕後之地。栽種晚稻絹莢豌豆。成績極佳。地一段。平均出百二三十圓。即一貫售一圓七十錢。農家爲副業甚善。農會獎勵甚力。全村共同售出大阪中央市場云。

統婦人手藝品　照法設買賣組

津山市手藝品購買販賣組合。最近照產業組合法。認設申請認可。已得指令。於津山市東新町。設事務所。家庭婦人約五百名。爲組合員。著手開辦。將各種工藝品。加工販賣。市內特產輸出品照美編。並買原料。一口出資。二十圓。第一回約二圓。以後隨時納之。組合員。仍得在其家庭。製造生產。中有商工業者婦人。所謂勞資提攜。大有紹介日本婦人手藝品於海外市場之慾氣。海外既定購大量云。

石河鐵橋之爆破
國際的重大問題

二日天津電。石河鐵橋之爆破。照義和團協定書。自北平至山海關間。任鐵道警備之列國軍。有關係國際的重大問題。二日午後七時半。于我駐屯軍。開列國軍司令部會議協議。

本社對讀者
各地抽籤
極呈盛況

本社依年例。對讀者。開新春大福引。去二日午前十時。在各地支局及取次店。舉行抽籤。當選者如左。

▲基隆市　特等松田正。一等松下鄉。二等林治國。三等江淺藤。竹下溫三。鄭乞食。郵便局電話試驗係。

▲瑞芳　一等二十七號。二等百十一號。二百十一號。參等二百十四號。八十號。百五號。四等七十八號。百七十四號。八十八號。百二十號。

▲板橋　二日午前十時。在取次店舉行。抽籤當日對四等以上者。贈呈景品如左。

一等大形掛時計一個當籤者　海山郡役所　齋藤傳殿

二等中形掛時計一個當籤者　海山郡役所　有川乃光殿

二等中形掛時計一個當籤者　林本源庭園　加藤彰殿

參等小形置時計一個當籤者　板橋街後埔　叺生工場殿

參等女持綢織傘一本當籤者　板橋街板橋　共和醫院殿

參等毛織內衣一枚當籤者　土城庄柑林埤　李阿匙殿

四等醬油（二升入）一本當籤者　林長存殿　同　伊勢佐根殿　同　仁禮景螺殿　同　林朝芳殿　同　簡科殿

▲新莊　一等山崎五郎。二等以下省略。

▲中壢　一等黃傳祿。二等菲亞淋。合藤江。三等中尾。柿木。黃振乾。

▲新竹市　特等吳仁。一等陳江淡。二等林基鍋。三等川上昇。松崎。謝誠吉。三等苗加。松下。張爾具。

▲苑中　特等渡邊ノリ子。一等魏哉　縫車商會。以下省略。

▲嘉義　特等賴知母。一等黃賢。以下省略。

▲臺南　特等別府登茂枝。一等臺灣新聞支局。二等鄭啓東。張堯山。三等陳海理髮店外四名。

▲高雄　特等坂井一男。一等谷宗三郎。二等以下省略。

▲花蓮港　特等西澤。一等生脊醫院。二等木材會社宮崎街長。三等吉野村小前。橫山代書人。華豐公司。野口。四等伊藤外五名。

中村駐屯司令官
對學良警告文

二日天津電。中國駐屯軍司令官中村中將。二日午後七時。對北平我步兵隊長飯原中佐。嚴命速對學良。面交左記警告文

一、一日午後九時餘。在山海關日本憲兵分遣所內及日本軍停車場監視所並滿洲國警察隊附近。投擲手榴彈數個。且受小銃射擊。右係貴軍。目下盛進兵力于熱河。徒爲刺戟人心。而出反日抗日行動。觀此情勢。不得不認爲中國一邊官憲之計劃的處置。我山海關守備隊。在同地欲實施與貴軍協定。至南門之際。貴軍爲不意敵對行動。射擊我軍。我將校一名戰死。負傷二名。有乃貴軍之不法而發端者。其責全在貴軍。言辭無可推諉餘地。而帝國軍亦究不能默視。爲是更將重大結果。及于北華全般。其責任全然在貴軍。帝國軍一切不任其責。

中村司令官。對學良警告中。爲所施與貴軍協定至南關時之協定云者。乃二日午前十時。我守備隊長落合少佐。與何柱國不在中責任者劉參謀間所協立者。其要項如左。

一、山海關。南關。因中國兵匪侵入。日本軍就南關警備配置。以當僑民保護及鐵道警備。

一、爲避與華軍衝突。撤廢南關中國一邊防備。撤去南門城壁上華軍。南門以日本軍保持同意。

右協定協立。我軍爲此實施。開始行動。而中國一邊突如發砲。此次之衝突原因在此。

妖言惑衆罰拘

年底有廣東省潮陽縣流氓婦人謝德。年四十六。在南投南興館。大吹法螺。自炫其堪輿之術。信之者甚衆。且爲人談吉凶禍福。殆有神仙不我若之概。郡警察課聞及。即召其人。到衙門一訊。知係妖言惑衆。遂罰以拘留五天。聞不日中又將遂其歸國云。

臺北消防
出初式
本日在新公園

臺北消防組出初式。本四日午前七時。假新公園舉行。其順序如左。一、午前六時四十分組員整列。二、同七時。中瀨知事。警察職員及來賓臨場。三、揭揚國旗。四、組長報告人員。五、奧田警務部長。檢點服裝及器具。六、喞筒操法及梯子。消火演習。七、奧田警務部長。講評及報告。八、表彰勤續組員。九、中瀨知事訓示。十、來賓述祝。十一、交與酒肴料。十二、降下國旗。十三、解散。已由奧田警務部長。柬邀重要官民列席云。

羅東消防組
出初式

羅東消防組。依恆例。定本四日午前八時。在羅東街運動場。舉出初式。又婦人交禮會。訂七日午後一時。在羅東公會堂開會云。

鹽水街
萬五千米繼走
償勝成績

既報由新營郡鹽水街青年團主催之一萬五千米繼走參加團五組。去二十日午前十時。由伽藍廟出發。經後鎮、新營、茄苳腳而歸。一著五十七分三十六秒蔡鴻濤。砂川尙正。蔡有才。洪洪鴻。二著五十八分二十二秒陳樹。陳春木。陳海平。陳海嬌（番子厝團）三著郭丁發。吳述邦。李崇仁。孫銀案（月眉社）又區間成績。優良受賞者砂川尙正。郭丁發。陳春木。陳海平等四名。對優勝組。授與以周溪。王炎順兩保正。所寄贈之銀瓶。對各組。授與以陳宗能。黃福。李振昌。周丙丁。翁鍾五。李泉。高天成。陳秋涤。王模。陳讚樂。黃吹陳。王江坤。李火炭等氏。多數之寄附品。由商工會長陳宗能氏發聲。三唱萬歲。後在公會堂。盛開茶話會。正午盛會裡閉會。

大甲郡舊臘
深夜臨時召集

大甲郡沙鹿。清水。大甲等地警察。去三十夜。各臨時召集。出爲搜查。開

臺南消防組
四日出初式

臺南市消防組出初式。按一月四日午前八時。舉行於公園。是日午前六時。市內各派出所。鳴警鐘。及鳴報午機。定刻組員齊集。由小山署長。檢閱及點檢。次村上組長。報告經過。表彰勤續組員。今川知事訓示。市尹述祝等。終有組員分列式。喞筒操法。登梯子獻技。消火演習等云。

村漢抗官
罰拘一週間

斗六郡斗南庄斗南　徐某之庶子徐長卿。年二十一。去二十二日午頃。駛牛車由石龜溪歸斗南之際。有自動車。由背後而來。斯時徐之牛車。不但不肯相避。反欲與自動車並行。値該處石龜溪派出所巡查廖珍生氏。監督該地保甲民修繕道路。恐有危險。以苦言向徐長卿勸其暫避。徐不肯。口出暴言。廖巡査欲査其住所姓名。他復抵抗。廖巡査不得已即同前捕住。押送到斗六警察課。交與西村警部之手。取調結果。罰拘留一週間以戒其後。

法政對鐵團野球戰
七對二鐵團優勝

初二日。法政對鐵團野球比賽。午前中。一般觀衆陸續赴圓山球場。觀覽席皆告滿員。正午法政。分乘自動車。抵圓山球場。由藤田監督引率入場。受觀衆拍手歡迎。而鐵團則以渡邊監督當先。亦受拍手歡迎入場。兩軍行守備練習。午後一時四十分。以法政先攻。開始比賽。各軍猛鬪力戰。終以七對二歸鐵團獲勝。同三時十七分告終。

法政校友會
歡迎野球團

法政大學校友會臺北支部。去二日午後六時半。假蓬萊閣。開母校野球選手一行歡迎宴。定刻選手一行。由藤田監督引率抵會場。席定。岡野校友會支部長起述歡迎辭。終開宴。各盡歡至八時半。合唱校歌散去。

樹林生活
改善會宣傳

海山郡樹林生活改善會。去二十八日爲宣傳趣旨。午後三時。以同地青年團樂隊爲先導。書改善標語大旗數旒。後有役員。並有志者四十五名。各執宣傳單。由紀念館啓程。巡廻街道。沿途撒布。同會雖創設未久。因會長王紹氏。熱心鼓吹。共鳴者多。近如會員中。賴神護氏之胞弟逝世。舉行葬儀。賴氏率先照會則履行云。

北野町刃傷案
被害者死亡

既報月二十八日夜。被高雄市北野町五丁目楊興祟用菜刀傷右橫腹。即入渡邊醫院治療中之同町人楊根源。至三十日午前零時半死亡。高雄署即以殺人既遂案。繼續取調。死者屍體。同日午後二時。由岡根警察醫執刀解剖云。

竹南強盜案

去三十日午前零時。竹南庄人王氏菊宅內。有覆面強盜。由窓門入內強奪金戒指。並金紗緞諸首飾。過後警官聞報。現張非常線搜拿中云。

賭漢其一逸去

新竹郡街港庄溪洲人張金獅。係賭博常習犯。去二十七夜。招其子張□。併與新庄新社人二名。正在後湖庄某親戚宅內。聚賭中。被警察包圍。捕捉張南外二名。罰金結案。惟金獅一人。攀上屋簷逃去。現正搜拿中。

墜梯斃命

新竹市南門青果商竹內數馬之妻夏代子。年三十二。去三十日上午二時。正由樓上下樓時。在梯板上。失足墜下。負打撲傷起腦振盪。陷于人事不省。即昇至新竹醫院救急。四時斃命。

養子竊金他逃

大甲郡大甲街頂店人黃覺定。有一養子名添枝者。年二十餘。去三十日。聞將欲與之娶妻金額三百餘圓。竊取他逃。雖偵騎四出。無從獲得。據覺定云。將來官搜查。疑爲子背後有唆使之人也。

借情郎宵遁
養父入搜查願

鳳山郡鳳山街赤山人蔡某養女蔡氏奸。年二十三。其養父欲爲招夫入贅。不肯。暗中私與情人某甲往來。未

瑞芳

交通磋商

瑞芳警察課。去二日午前九時。召集管下十派出所職員。在瑞芳警察官吏派出所內。開昭和八年第一回交通事務協議會。是日磋議事項如左。

一、年頭所關覺件。

二、民情調查徹底之件。

三、特高警察充實之件。

四、刑事警察充實徹底之件。

五、突發事件處理之件。

六、火藥取締所關件。

七、營業取締所關件。

八、衛生思想普及所關件。

九、傳染病豫防所關件。

一〇、捕獲防遏所關件。

一一、報告期限勵行所關件。

一二、年末期簿册編纂及整理所關件。

年賀郵便

瑞芳郵便局本年度年賀郵便物。依當局統計。即瑞芳局發四六、三八二枚。受五一、八七〇。金瓜石發二六、二三〇枚。受二三、八二〇枚。較去年。有減半數以上之云。

大甲

募弔慰金

在新京戰死之三等軍醫內藤公平氏。係元沙鹿第二代公學校長內藤村氏之長男也。是以該地大岡庄長。及中村中東小公學校長。出爲發起。特向該地人士。募集弔慰金。以慰恤其遺族。

浴場開場

新築之沙鹿庄公共浴場。蔡自日前。先行試燃新鍋灶。去三十一日。頒□數招待券。配贈與街人士。公開無料。去一日起開場。料金大人三錢。小兒半額。

險遭盜難

大甲郡沙鹿庄洪福桂店。去二十九日深夜。忽有賊小破門將入。會多[illegible]。賊即逃去。幸無何等損失。

慰勞局員

沙鹿郵便局長吉井榮吉氏。去二十一夜。因該局員。忙於整理年賀郵件。特備宴在本務室以犒其勞。

南投

機動車通

既報中寮二水線。自前準備爲激機動車。其構造同於本線。但車略少。本定去年十二月二十五日。舉行開通式。臨因都合上。改定來五日。始行開通。其時間與該線同時。已誌前報。新時自南投至名間。車賃。擬行減少三折云。

疑便告竊

南投郡草屯庄双冬九份地寓竹池。年四十一。曾有捕獸器被竊。雖告諸警察。事經年餘。迄無下落。日來見某農場某甲。舉動可疑。疑其所爲。即行具案告發。未果如何。殊堪注目。

運轉新車

彰南線自動車。數日前費三千餘圓。購入新車。目下手續完備。乘客且遊人如蟻之概。試行運轉。其車體之構造。較舊車爲美好。頗博乘客之稱讚云。

北港

購組認可

臺南州北港郡役所。阿部熊男氏外十一名。爲有限責任北港郡役所購買組合。組合員一百三十名。出資口數五百口每口十圓。日前向州當局。提出申請。經日前認可。而日本製糖北港製糖所。前亦提出購買組合。設立申請。組合員六一名。一口五圓。亦于同日認可云。

護岸堤防

臺南州北港郡北港街。西接北港溪。每年霖雨。濁水侵入。如昨年夏間暴風雨。非常危險。阿部郡守。及街有力者。數次參州交涉。乃決定昭和七年度中。築造浸水工事。一千七百米。州當局。更定八年度起作二個年繼續事業。施行護岸堤防工事。初年度工費四萬餘圓。居民另負擔八千餘圓云。

新營

總會日程

新營郡下蓮葉組合通常總會。併總代決定會。依左記日程開之。十五日前十時鹽水港。同日前九時柳營。十六日前十時柳營。十七日前九時新營。十八日前十時番社。二十日前十時番社。二十一日後一時關子嶺。二十二日前十時白河。

餞別會

新營郡新營庄前助役五十嵐氏今回任白河庄長。去三十日午後五時半。在役場樓上。受元庄長沈昆山。及吏員送別會。又一般有志餞別會。預訂五日開於公學校。目下由平井庶務課長。大野。沈昆山。岩本等氏發起。會員募集中云。

臺南

定初荷期

臺南專賣支局。定一月二日午前十時。對南市煙酒各仲賣店行初荷禮。先期先集各仲賣人及店員。遞送人於支局舉祝宴。乃以馬車載煙酒。沿途撒宣傳券。拾得者以所記入之煙酒名。至仲賣處交換獎品。斯舉係本年新計畫云。

新春劇界

天南影片公司。以新正各界多閒。爲點綴春光。去元旦起六日間。於永樂大舞臺。開映百劫鴛鴦。菊盜血。梁乃武三新片。兩日一更易。聞三片臺南未曾映過云。

會事

▲臺灣經濟外交會臺北支部。一月二日午後二時。於蓬萊三仙樓。開第四回大會。出席會員八十五名。今澤君開會辭。一同對於會館敬禮。大坪木榮君爲長。進行議事附議全島大會提案件。及會館建築機關雜誌促成實現件其他。役員選舉。以正式投票。黃鐵君爲支部代表。並選常務十七名。執行委員三十四名。至六時閉會。是日總開懇親宴。九時餘散會。

人事

▲川內臺北商會長張清港氏次郎榮貴君。與太平町何阿珠氏令愛之遜女士結婚。訂來六日舉結婚式。男出第二中。女亦第三高女出身云。

詩壇

新春雜詠

文淵生

迎年誰到四隣喧。爆竹聲聲喜氣繁。
我也桃符隨例貼。宜春字並吉祥言。

笑聽兒女我撞東。蝶板頻翻淡蕩風。
最是解人投刺客。一盃共喜醉顏紅。

相約攜香詣劍潭。姆姊妹太嬌憨。
新正漫道閒無事。祝歲紛紛寺裡參。

風和日麗冶遊人。柳媚花嬌色々春。
郎去賀年促閙草。也添光景一番新。

○賴場柳

歲華盛事逐香塵。柳綠花紅是首春。
日暖風和勝島語。尋芳携酒問來人。

初歲春光梅杏同。亭亭庭畔舞東風。
綠肩玉貌嫣然笑。原是仙姬化散容。

蓬地聲喧芳草搖。東風送雨下瀟瀟。
不知春水漲多少。款乃漁舟過板橋。

紅樹花開翠浪齊。冷風貼滿綠陰迷。
無言脉々桃文杏。卑鬪芳非枝拂溪。

○江介石

新年何物慰訴齡。策杖尋春到野亭。
拜領東皇非別品。玉梅賜我插金瓶。

萎々芳草晏晴煙。春色迤邐綠更妍。
準備双柑兼斗酒。及時行樂會群仙。

草木爭春展笑容。桃紅蕉綠露濃濃。
梅花潔白能欺雪。茉莉清香善引蜂。

四時一望水盈陂。播種豈失正及時。
播得秧針齊豎好。不同芟草有參差。

漆は∧齋藤漆に限る

漆柄塗　人力車　三輪車　保婦車　小供自動車　小供自轉車　新登保婦車　スペリ塗　ヘンモック

販賣　修繕

∧齋藤漆臺灣一手販賣

上田屋商店

臺北市京町二丁目十八番地

電話 四三二番　振替 臺北 一三〇番

萬なかたち

求職一件一回 [illegible]　其他一回 [illegible]

商品券勉強賣買　大和町　電六二九　大正商券

女子敎手見習 [illegible] 公學校卒業 [illegible]　永樂町二ノ八七 [illegible]